

MDC-74

Multi Device Controller

取扱説明書

【改定履歴】

No	発行日	バージョン	内容
1	2017年12月	0100-01-67	初版
2	2018年3月	0100-01-6C	<ul style="list-style-type: none"> ・Diff(再生 TC の相対値)表示に対応 MENU 29101 ・60frame 素材を 30frame 表示に換算して表示する機能を追加(LAN 制御) MENU 30208 ・GPI パルス出力対応 MENU 33301~33307 ・簡易LOOP再生機能
3	2019年5月	0100-01-77	<ul style="list-style-type: none"> ・Protocol 選択に Musashi-a Eth を追加 ・BlkMgc-a Ethe&Sio 設定の仕様変更 ※別途ライセンスが必要です ・UpDate機能の高速化 ※次回の UPDATE より反映
4	2019年6月	0100-01-78	<ul style="list-style-type: none"> ・BlankKey 機能に SyncTopPlay 機能を追加 MENU27812/27813 ・GPI 機能に BlankKey 選択を追加 MENU4860B/4860C/4860D ・特殊用途 MENU30D1B/31006/33216/30911/30912 機能追加 ・Timer 機能追加
5	2019年11月	S0100-7A-xx	<ul style="list-style-type: none"> ・Collection メニューの表記変更 ・Verの表記変更 ・MENU27601-4 Bank 機能設定をシンプルに変更
6	2019年12月	S0100-7C-xx	<ul style="list-style-type: none"> ・簡易編集機能に OffSet 指定追加 MENU29910-3 ・XDS(VTR プロトコル使用時)TCG 切替コマンドを追加 MENU34010-32 ・KiPro 同時再生コマンドに対応 MENU30D1C ・MENU29102 設定追加

目次

1. はじめに	5
2. 開梱および確認	5
3. 安全に関する注意	6
4. 概要	7
5. 特徴	7
6. パネル部の名称及び機能	8
7. 背面パネル部の名称及び機能	16
8. 操作画面と機能	18
8.1 操作画面の構成	18
8.2 デバイスステータス画面	19
8.3 PORT 表示部	20
9. 機能と操作方法	21
9.1 Collection 機能	22
9.2 通常機能	25
9.2.1 録画の開始と再生	25
9.2.2 VAR 再生	26
9.2.3 TCとCTL 指定	26
9.2.4 PREROLL 指定	27
9.2.5 GOTO 機能	29
9.3 クリップリスト機能	30
9.3.1 Clip の操作概要	32
9.3.2 クリップの登録操作	33
9.3.3 クリップの編集	34
9.3.4 クリップのコピーと削除操作	34
9.4 素材リスト機能(マテリアルリスト)	35
9.4.1 Material 操作概要	36
9.4.2 素材の呼び出し	37
9.4.3 素材の削除	37
9.4.4 収録時のファイル名称について	38
9.5 カップリング機能	39
9.5.1 カップリング機能の設定	39
9.5.2 カップリング機能の操作	39
9.5.3 カップリング機能 + VTR 制御の操作	40

9.6	パラ制御機能	41
9.6.1	パラ制御機能の設定	41
9.6.2	パラ制御機能の操作	41
9.6.3	パラ制御の CLIP 点 (CUE 点) の登録エリアの変更	42
9.7.4	Diff 表示機能	43
9.6.5	パラ制御の位置合わせ CUE UP 操作	43
9.7	PLAY LIST 機能	44
9.7.1	プレイリスト画面の説明	44
9.7.2	プレイリストの操作概要	45
9.7.3	PLAY LIST 連続再生	46
9.7.4	PLAY LIST シングル再生操作	50
9.7.5	プレイリストのBank登録	52
9.8	TimeCode 機能	53
9.9	VTR 簡易編集機能	54
9.10	タイマー機能	54
9.11	GPI 機能	55
9.12	PANEL INHI 機能	58
9.13	MENU 操作	59
9.14	MENU のバンク設定	59
9.15	バージョンアップ機能	60
9.16	スクリーンセーバー機能	62
9.17	簡易ログ機能	62
9.18	LAN 制御	63
9.18.1	Musashi-a Eth (MCI-70) Protocol	63
9.18.2	Blackmagic HyperDeck Ethernet Protocol	63
9.19	SYNC 画面	64
10.	コネクタ仕様	65
11.	一般仕様	68
12.	通信仕様	69
13.	外観	70
14.	MENU 一覧	72
15.	お問い合わせ	73

1. はじめに

“MDC-74”をお買い上げ頂きまして、誠にありがとうございます。

本製品を正しくご使用して頂くために、この取扱説明書をお読みください。

また、本書はお読みになった後も大切に保管して下さい。

2. 開梱および確認

本製品は、以下の構成表に示す品物が入っています。

すべての品物が揃っているかご確認下さい。

構成表

品名	数量	備考
MDC-74	1	
専用ACアダプタ	1	
保証書	1	
取扱説明書	1	

3. 安全に関する注意

安全にご使用いただくために、注意・警告事項を必ずお守りください。



危険

- 万一、異常な発熱、発煙、異臭がするなど、異常状態のまま使用すると火災や感電の原因になります。
ACアダプタをコンセントから抜きサポートにご連絡下さい。



警告

- 付属のACアダプタ以外で使用しないで下さい。
火災の原因になります。
- コード類は正しく配置して下さい。
AC アダプタや接続ケーブルは、足にひっかけると本体の落下やケーブルを傷め、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを触らないで下さい。
感電の恐れがあります。
- 水のある場所に設置しないで下さい。
濡れると、火災や感電の原因となることがあります。
- 内部に異物を入れないで下さい。
異物が入ると、火災や感電の原因となることがあります。



注意

- AC アダプタを抜くときには、ケーブルを引っ張らないで下さい。
ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 外装を外さない、改造しない
外装を外したり、改造したりすると、感電の原因となることがあります。

4. 概要

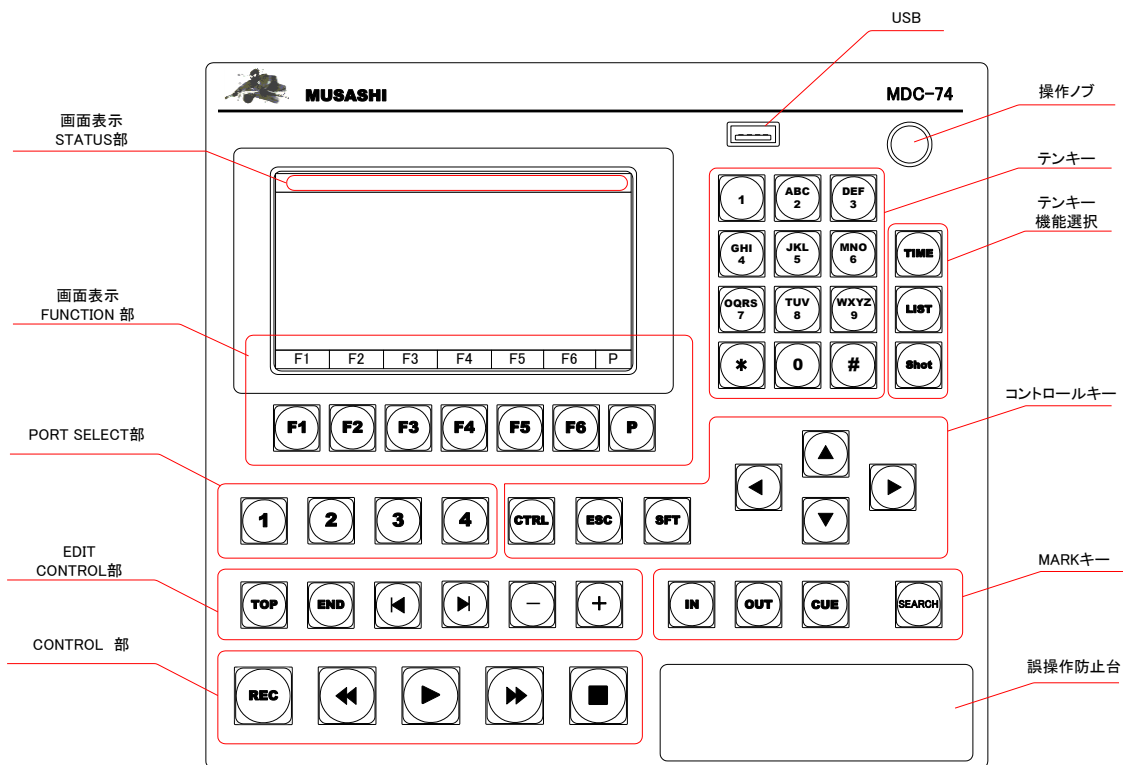
MDC-74 はディスクレコーダ及び VTR のリモートコントロールを行う装置です。
PLAY/STOP/REC 等の制御を LAN 又は RS-422 により行います。
制御ポートは4ポート装備しています。
タイムコードを利用した CUE 登録が可能で迅速な番組の頭出しが可能です。
液晶表示機によるCUEリスト表示、クリップ表示が可能です。

5. 特徴

- ・ CUE の登録と CUE UP 操作が可能です。
- ・ 4 ポートまで制御が可能です。
- ・ 多彩な CUE 登録が可能です。
- ・ テンキーによるダイレクトに打ち込み GOTO が可能です。
- ・ 最大 4 ポートまで同時 REC/ PLAY/ CUE UP が可能です。(※調相はしていません。)
- ・ GPIを備え外部から PLAY/STOP/REC 等が可能です。
- ・ VTR9ピンプロトコル制御と VDCP プロトコル制御の混在が可能です。
- ・ 2 系統の制御信号での収録制御と再生制御を感覚的に行う事が可能です。
- ・ 対象デバイスの素材制御が可能です。
- ・ 登録した CUE 点を使用しプレイリストの作成が可能です。
- ・ SW のカスタマイズが可能です。
- ・ TC の入出力を装備しています。

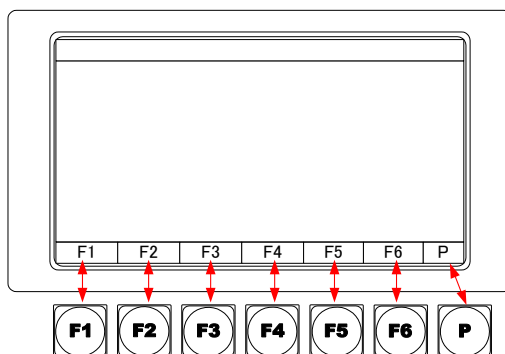
6. パネル部の名称及び機能

MDC-74 の操作部の概要を記載します。



① 液晶表示 FUNCTION 部

カラー液晶表示機は機能毎に表示を切替えて使用します。



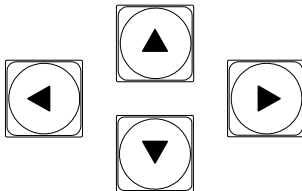
基本機能	
ボタン	説明
F1～F6	機能を切替ます
P	ページを切替ます

② コントロール ボタン



基本機能	
ボタン	説明
CTRL	操作全般の選択です
ESC	操作をキャンセルします
SFT	操作全般の選択です

③ 矢印ボタン

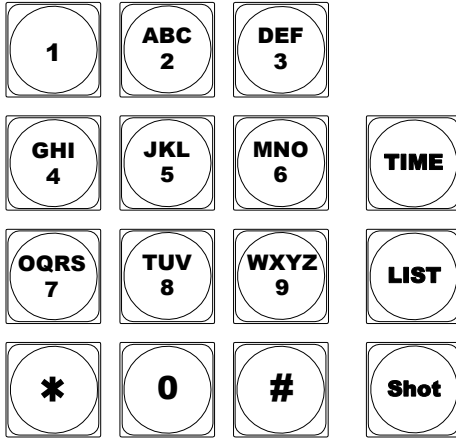


基本機能	
ボタン	説明
▲	Files/CUE を選択します
▼	Files/CUE を選択します
◀	IN 点に頭出しを行います
▶	OUT 点に頭出しを行います

拡張機能	
ボタン	説明
SFT + ▼	操作ノブを有効にします File・CUE 点・MENU の選択をノブで行う事が可能です
SFT + ▲	操作ノブを有効にします File・CUE 点・MENU の選択をノブで行う事が可能です
SFT + ◀	Preroll 値を含めない IN 点に頭出しを行います
SFT + ▶	Preroll 値を含めない OUT 点に頭出しを行います

④ テンキーボタン

テンキーボタンでは TIME (GOTO) 機能、LIST (Clip No) 機能、Shot (Key No) 機能を切り替えて使用する事が可能です。

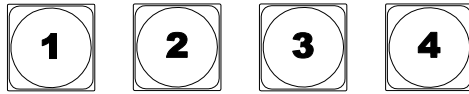


基本機能	
ボタン	説明
テンキー数字	下記の機能を切替えて使用します
テンキー#	数字入力の確定 (CUE UP) ボタンです
TIME	TC を入力して CUE UP します
LIST	CLIP NO を入力して選択します
Shot	CLIP をテンキーに割当 CUE UP します ページ切替えは SFT + テンキーで行います

拡張機能	
ボタン	説明
テンキー数字	SetSym 時にクリップにシンボル (SYM) を入力する事が可能です

関連メニュー 自動 CUE UP 設定		
27D00	AtCup-SetClp-CList	ClipList に CUE 点を登録した時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。
27D03	AtCup-CsrMov-CList	ClipList でカーソルを移動させた時に自動で CUE UP します。 Disable : CUE UP しません。 Enable : CUE UP します。

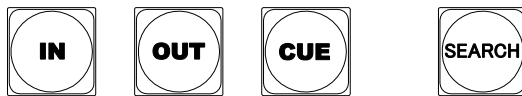
⑤ ポート選択ボタン



制御対象機器の選択を行います。

基本機能	
ボタン	説明
1	SIO1 の制御を有効にします
2	SIO2 の制御を有効にします
3	SIO3 の制御を有効にします
4	SIO4 の制御を有効にします
【ボタンの点滅】	
<ul style="list-style-type: none"> ・複数動作の基準ポートです <li style="padding-left: 20px;">※複数動作時は REF に同期してコマンドを送信します ・カップリング機能有効時は CUE 点の登録ポートです 	
SFT+ボタン	複数選択が可能です

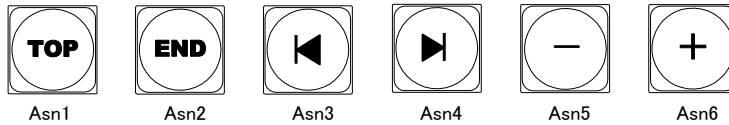
⑥ MARK ボタン



CLIP 点(CUE点)を登録します。IN点のみの登録、又はIN/OUT 点の登録が可能です。

基本機能	
ボタン	説明
IN	IN 点を記録します
OUT	OUT 点を記録します
CUE	CLIP 点(CUE点)の登録を行います IN/OUT 点が記録されている時は IN/OUT 点を登録します
SEARCH	CLIP 点(CUE点)の読出し(CUE UP)を行います
SFT+IN	IN 点の修正を行います
SFT+OUT	OUT 点の修正を行います。

⑦ EDIT CONTROL 部



各 SW は機能を変更する事が可能です。(標準出荷時の機能)

基本機能	
ボタン	説明
TOP	TOP 動作します
END	END 動作します
▶	STOP + NEXT 動作します 次のクリップにジャンプします
◀	STOP + PREV 動作します。 現在のクリップの先頭を表示します。クリップが先頭フレームの時は 1つ前のクリップの先頭にジャンプします
+	1Frame 送り
-	1Frame 戻し

関連メニュー カスタマイズ可能な機能 (再起動後に有効になります)			
項目番号	項目名	機能名	内容
27811 ~ 27816	\$ContKeyAsn-1 ~ \$ContKeyAsn-6	1) Blank	何もしません。
		2) Var	VAR 動作に切り替えます。
		3) J/S	JOG 動作に切り替えます
		4) Stop	STOP 動作
		5) Rec	REC 動作
		6) Play	PLAY 動作
		7) F-Play	F-PLAY 動作
		8) Rew	REW 動作
		9) F.FWD	FWD 動作
		10) Top	TOP 動作
		11) End	END 動作
		12) Standy	STANDBY ON 動作
		13) Eject	EJECT 動作
		14) Prev	PREV 動作
		15) Next	NEXT 動作
		16) Var1	VAR1 再生動作
		17) Var2	VAR2 再生動作
		18) Var3	VAR3 再生動作
		19) RecDlyVar	特殊再生(ハイフレームレート)
		20) Jp-RecInTc	特殊用途 関連機能: MENU30807
		21) Jp-RecOutTc	特殊用途 関連機能: MENU30807
		22) Step(-)	- 1Frame 送り
		23) Step(+)	+ 1Frame 送り
		24) SyncPlay	簡易同期PLAY
		25) MdaStbty	特殊用途
		26) SyncTopPlay	ファイル頭に移動して再生する
		27) CurTOP	特殊用途
		28) CurEND	特殊用途

⑧ CONTROL 部



各 SW は機能を変更する事が可能です。(標準出荷時の機能)

※本 SW の機能は個別に設定して出荷していますので、詳細は設定マニュアルを参照して下さい。

基本機能	
ボタン	説明
REC	PB/EE を切り替えます
REC + PLAY	収録を開始します
REC + STOP	収録を停止します
▶ PLAY	再生動作します
SFT+PLAY	カップリングモード使用時、追っかけ再生をします。
F-PLAY	ファンクション再生 【Device Status 画面】 カップリング動作時の追っかけ再生開始 【Clip List 画面】 クリップの IN~OUT 再生開始 【Play List 画面】 クリップの連続再生開始 (MENU27811~MENU27818 機能変更が可能)
CTRL+PLAY	PLAY LIST 再生又は CUE LIST の IN 点~OUT 点の再生動作
SFT+F-PLAY	【Clip List 画面】 クリップの IN~OUT LOOP 再生 (MENU29602 で ON/OFF が可能)
■ STOP	停止します STOP ボタンの点滅は REF 検出です (MENU28200 で ON/OFF が可能)
■ STOP 長押し	複数選択時マスターポートの TC に CUE UP します ※MENU28205で ON/OFF 可能です
PORT+ STOP	EJECT 動作します(ファイルはUNLOADします)
▶▶ FF	早送り動作します(押す毎に x2,x10,x50 が切替わります) ※MENU28206で変更可能です
◀◀ REV	巻き戻し動作します(押す毎に x2,x10,x50 が切替わります) ※MENU28206で変更可能です

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
28205	StopSwLgOprMod	パラ選択時に STOP ボタンを長押しするとマスターポートに CUEUP します 1) <u>Disable</u> 2) MasterCueup
28206	FfRwSwOprMod	FF/REW ボタンの機能変更 1) <u>Normal</u> : FF/REW 2) x2,x10,x50 : 押す毎に切替わります

関連メニュー カスタマイズ可能な機能（再起動後に有効になります）					
項目番号	項目名	内容			
27817 ～ 2781B	\$ContKeyAsn-7 ～ \$ContKeyAsn-11	1) Blank	何もしません		
		2) Var	VAR 動作に切り替えます。		
		3) J/S	JOG 動作に切り替えます		
		4) Stop	STOP 動作		
		5) Rec	REC 動作		
		6) Play	PLAY 動作		
		7) F-Play	F-PLAY 動作		
		8) Rew	REW 動作		
		9) F.FWD	FWD 動作		
		10) Top	TOP 動作		
		11) End	END 動作		
		12) Standy	STANDBY ON 動作 (Default)		
		13) Eject	EJECT 動作		
		14) Prev	PREV 動作		
		15) Next	NEXT 動作		
		16) Var1	VAR1 再生動作		
		17) Var2	VAR2 再生動作		
		18) Var3	VAR3 再生動作		
		19)RecDlyVar	追っかけ再生時 Var 再生します		
		22) Step(-)	- 1Frame 送り		
		23) Step(+)	+ 1Frame 送り		
		24)SyncPlay	簡易同期PLAY		
		25)MdaStbty	特殊用途		
		26)SyncTopPlay	ファイル頭に移動して再生する ※TOP コマンドに対応した機器のみ		
		27)CurTOP	特殊用途		
		28)CurEND	特殊用途		

⑨ 操作ノブ



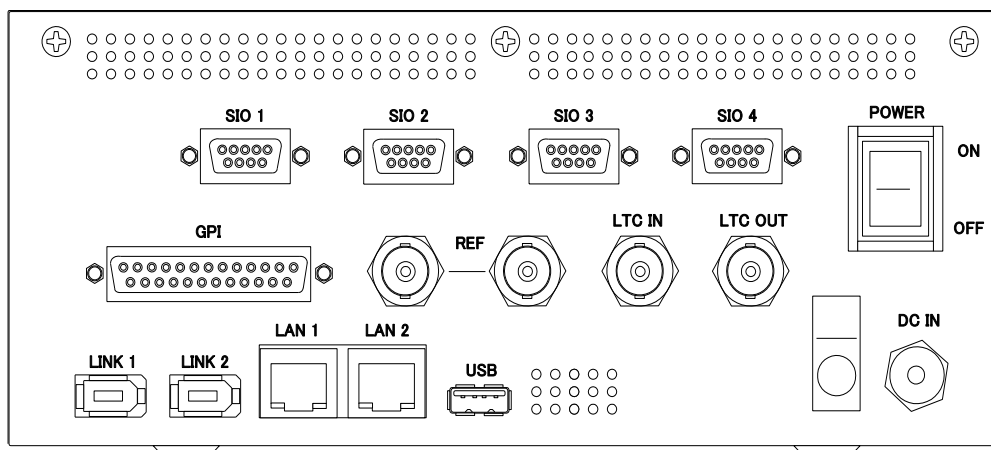
基本機能	
ボタン	説明
+ 選択時	JOG 動作します
- 選択時	JOG 動作します
SFT + ▲	List 表示画面の選択します
SFT + ▼	List 表示画面の選択します

⑩ USB

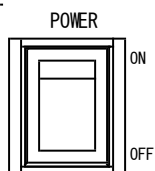
- ・ソフトウェアのバージョンアップが可能です。
- ・Bank 機能(メニュー設定内容の保存)が可能です。

USB メモリ対応フォーマット	FAT
-----------------	-----

7. 背面パネル部の名称及び機能



① POWER

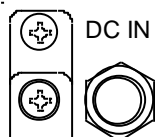


電源SWです。

※電源を切断しても CUE 点は覚えています。

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
27402	PwrOn-CueInitMode	電源投入時 CUE データの削除指定 Disable : 削除しない Enable : 削除する。

② DC IN



専用 AC アダプタを接続します。

ACアダプタのプラグを差し込み左に回してご使用下さい。

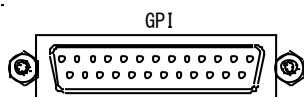
③ SIO1～4



RS-422 制御コネクタです。

VTR 及びディスクレコーダと接続します。

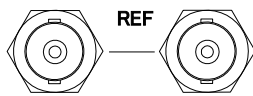
④ GPI



GPI コネクタです。入力 8個／出力 8個の制御を

メニュー設定で機能を割り当て使用する事が可能です。

⑤ REF



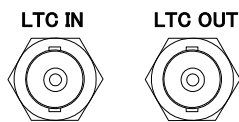
基準ビデオ信号を入力します。

2値SYNC／3値SYNCに対応しています。

NTSC 又は PAL 基準ビデオ信号を入力します。(ループスルー付き)

※基準ビデオ信号を入力しなくても動作しますが、CUE点及び編集点で数 Frame の誤差が生じる可能性があります。

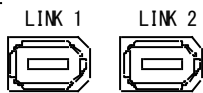
⑥ LTC IN / LTC OUT



LTC(Time Code)の入力と出力です。

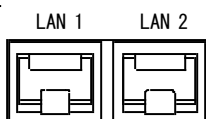
Device Status 画面から F6(DispChg)で LTC 画面に切替わります。

⑦ LINK1 / LINK2



システム拡張用コネクタです。弊社製品の機器間相互通信が可能です。

⑧ LAN1 / LAN2



・LAN1 弊社PCアプリケーションの通信に使用可能です。

・LAN2 デバイスと通信に使用可能です。

・10BaseT/100BaseT

・AutoMDIX 機能を搭載しているのでクロス／ストレート問わず接続可能です。

⑨ USB



未使用

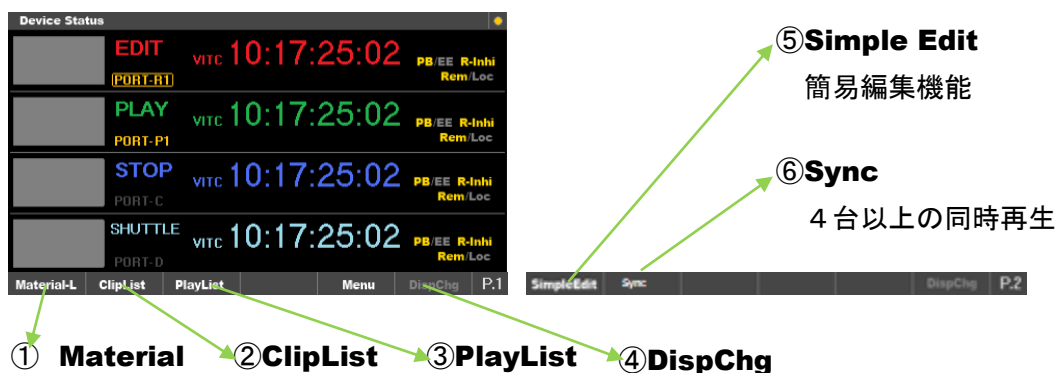
8. 操作画面と機能

操作画面は下記の機能が装備されています。

画面毎にファンクション表示エリア内の機能が切り替わり、詳細動作を行う事が可能です。

※MDC-74 ではサムネイル表示機能はありませんので画像表示部はグレイアウト表示となります。

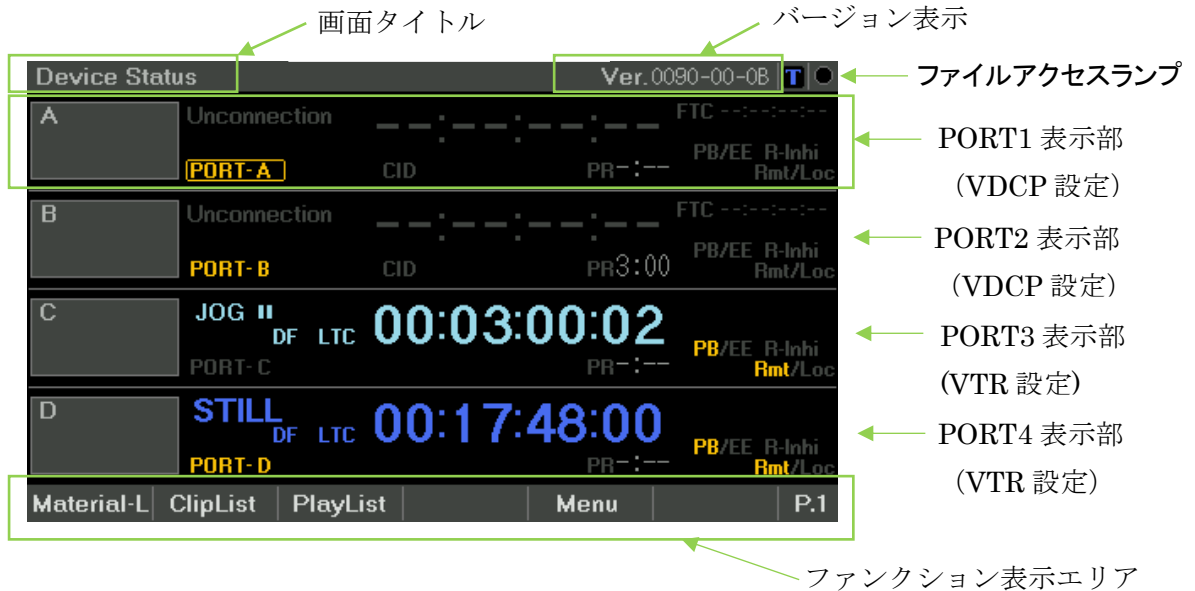
8.1 操作画面の構成



<p>① Material List 素材リスト画面</p>	
<p>② Clip List クリップリスト画面</p>	
<p>③ Play List プレイリスト画面</p>	
<p>④ LTC Status TimeCode 画面</p> <p>LTC Timer タイマー画面</p>	

8.2 デバイスステータス画面

ステータスモード画面です。



【画面タイトル】

機能によりタイトルが変わります。

【バージョン表示】

ファームウェアのバージョンです。

【PORT1～4表示部】

SI01～4の制御に対応しています。

【ファンクション表示エリア】

機能の選択を行います。SFT キー又は P キーで表示を切替て使用します。

【ファイルアクセスランプ】

画面右上の丸印はファイルアクセスランプです。

故障の原因になりますので、ランプが点灯中（黄色）は電源断を避けて下さい。

8.3 PORT 表示部



① 名称表示部

メニューの設定に従いポート名称の表示が可能です。

関連メニュー < Consol > シンボル名称の変更とサムネイル表示		
項目番号	項目名	内容
27701	Port1-Symbol	PORT1 のシンボルを変更します A~D / V1~V4 / R1~R4 / P1~P4
27702	Port2-Symbol	同上
27703	Port3-Symbol	同上
27704	Port4-Symbol	同上

② ステータス表示部

③ TC/CTL 表示部

④ タイムコード表示部

※対象機器の状態により色が変わります。STOP(青) PLAY(緑) REC(赤)

⑤ FTC 表示

※VTR プロトコル使用時は表示しません。

⑥ デバイスの状態表示

PB/EE : 選択状態の時“黄”になります。

R-Inhi : 収録禁止状態の時“赤”になります。

⑦ REMOTE/LOCAL 表示

VTR の REMOTE/LOCAL 状態を表示します。

⑧ ポート選択表示

ポート選択ボタンに連動して表示します。選択状態の時“黄”になります。

⑨ 素材のファイル名を表示します。

※VTR プロトコル使用時は表示しません。

9. 機能と操作方法

MDC-74 では下記の機能が装備されています。

機能	概要
Collection 機能 MENU画面	制御プロトコル及び使用方法を簡単に設定する機能です。
バージョンアップ機能 MENU画面	USB メモリーを使用してバージョンアップを行う機能です
マテリアルリスト表示 MaterialList 画面	ファイル管理されている機器のクリップ情報の確認が行えます。 ※VDCP プロトコル使用時
GOTO機能	テンキーで入力したTCにCUE UPLします。
VAR 再生機能	可変速再生します。
PREROLL 機能	プリロール時間を計算してCUE UPLします。
CUE機能	タイムコードを登録して、頭だしをする機能です。
カップリング機能	収録系制御と再生系の制御の2ポートを同時に制御する事により、感覚的にタイムコードの登録／頭だしをする機能です。
同時制御機能 DeviseStatus画面	複数のポートに同時に制御する事が可能です。
連続再生機能 PlayList 画面	クリップリストで作成クリップをプレイリストに並べる事により連続再生する機能です。 ※VDCP プロトコル使用時
簡易編集機能 Simple Edit 画面	アッセンブル編集及びインサート編集を行う事が可能です。
タイマー機能 LTC Timer 画面	指定時間に再生・停止・収録を行う事が可能です。
GPI機能	メニュー設定により GPI での制御を行う事が可能です。
同時制御機能(4台以上) Sync画面	複数のポートに同時に制御する事が可能です。 ※別途MCI-70が必要です。
TC Generator/Reader 機能	収録時に LTC を出力する事が可能です。

9.1 Collection 機能

Collection 機能とは使用デバイスのプロトコル及びポートの使用方法を設定する機能です。VDCP プロトコル・VTR プロトコル等の選択と複数台の同時制御等の設定を一括して行う事が可能です。MENU 内の Consol や Sio で細かな設定を行わなくても、Collection メニューにて一括設定を行う事が可能です。

関連メニュー <Collection> 設定値の変更は F1(Set)/F3(-)/F4(+)で行います。		
項目番号	項目名	内容
17000	\$CutomPtn	カスタム設定です。 0000: 標準仕様
17002	\$PcSysPtn	コントローラモードと PC モードの切替えを行います。 1)Free : (前回の設定を保持します) 2)StandAlone : 通常モードで使用します。(VTR 制御等) 3)MvxMode-A : SlaveMode(Mvx) 4)PcMode-A : SlaveMode A 5)PcMode-B : SlaveMode B 6)PcMode-C : SlaveMode C ※SlaveMode で起動すると画面は SlaveMode と表示され、PC 等と通信が確立すると、アプリケーション依存の画面に切り替わります。 ※通常モードに戻すには ESC+SFT ボタンを押しながら電源を投入して下さい。投入後に本 MENU を StandAlone に戻して下さい。
17100	\$Port-Coupling	PORT の使用方法を設定します。 1)Free : 前の設定を保持します 2)Default : VTR 単体制御及び同時制御を行う時に選択します。 3)Coupling12:1,2 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。 4)Coupling34:3,4 PORT をカップリング機能で使用する時に選択します。 5)Coupling12/34:1,2 と 3,4 PORT を選択しカップリング機能で使用する時に選択します。 6)Coupling1224 : 1,2 と 3,4 PORT を同時にカップリング機能で使用する時に選択します。
17301	\$Port1-Protocol	PORT 1 で使用するプロトコルを選択します。 1) Free : (前回の設定を保持します) 2) Default(VTR) : デフォルト(初期設定値)(※VTR プロトコルに設定) 3) Through : (PC モード用) 【VTR プロトコル】 4) VTR-a : VTR プロトコルに設定します。 【VTR プロトコルの追っかけ再生指定】 5) F-VTR-a R1 6) F-VTR-a R2 7) F-VTR-a R3 8) F-VTR-a R4 9) F-VTR-a P1 10) F-VTR-a P2 11) F-VTR-a P3 12) F-VTR-a P4 13) F-VTR-a R/P 【XDS VDCP プロトコル】 14) XDS-a VDCP R1 : VDCP プロトコルの REC ポートに設定しま

		<p>す。</p> <p>15) XDS-a VDCP P1 : VDCP プロトコルの PLAY ポートに設定します。</p> <p>16) XDS-a VDCP R1/P1 : VDCP プロトコルの REC と PLAY を1ポートで切り替えて使用します。</p> <p>【XDS VTR プロトコル】</p> <p>17) XDS-a VTR R : VTR プロトコルの REC ポートに設定します。</p> <p>18) XDS-a VTR P : VTR プロトコルの PLAY ポートに設定します。</p> <p>19) XDS-a VTR R/P : VTR プロトコルの REC と PLAY を1ポートに設定します。</p> <p>【PSW/SRMASTER VDCP プロトコル】</p> <p>20) SR1K-a VDCP R1</p> <p>21) SR1K-a VDCP R2</p> <p>22) SR1K-a VDCP R3</p> <p>23) SR1K-a VDCP R4</p> <p>24) SR1K-a VDCP R5</p> <p>25) SR1K-a VDCP R6</p> <p>26) SR1K-a VDCP R7</p> <p>27) SR1K-a VDCP R8</p> <p>28) SR1K-a VDCP P1</p> <p>29) SR1K-a VDCP P2</p> <p>30) SR1K-a VDCP P3</p> <p>31) SR1K-a VDCP P4</p> <p>32) SR1K-a VDCP P5</p> <p>33) SR1K-a VDCP P6</p> <p>34) SR1K-a VDCP P7</p> <p>35) SR1K-a VDCP P8</p> <p>【LAN 制御】</p> <p>36) BlkMgc-a Eth</p> <p>37) BlkMgc-a Sio</p> <p>38) BlkMgc-a Eth&Sio ※オプションライセンスが必要です。</p> <p>【特殊制御】</p> <p>39) Musashi-a Eth</p> <p>40) KiPro-a</p>
17302	\$Port2-Protocol	PORT 2 で使用するプロトコルを選択します 同上
17303	\$Port3-Protocol	PORT 3 で使用するプロトコルを選択します 同上
17304	\$Port4-Protocol	PORT 4 で使用するプロトコルを選択します 同上

※変更後は ResetMDC(SFT+F5)で再起動して下さい。

※工場出荷時の設定に戻すには“ESC”+“1”を押下しながら電源 ON で、メニューデータと全 CUE データも初期化されます。出荷時の Collection 設定も初期化されてしまうので、作業後 Collection メニューの設定が必要となります。

設定例 . 1

ポート1~4を使用して、4台のVTRを制御する場合

The screenshot shows a window titled 'Menu - Collection' with a version number 'Ver. 0100-01-79'. It contains a table with columns 'No.', 'Name', and 'Value'. The table lists several settings, with the last four rows highlighted in blue. At the bottom of the window, there are buttons for 'Set', '-', '+', 'ResetMDC', 'Default', and 'P.1'.

No.	Name	Value
17000	\$CustomPtn	0000
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Coupling	2) Default
17301	\$Port1-Protocol	4) VTR-a
17302	\$Port2-Protocol	4) VTR-a
17303	\$Port3-Protocol	4) VTR-a
17304	\$Port4-Protocol	4) VTR-a

設定例 . 2

ポートの1, 2を使用して XDCAM STATION の InterDisk で、録画しながら再生制御をする場合 (VDCP プロトコル) ポートの3, 4は VTR を接続する設定

The screenshot shows a window titled 'Menu - Collection' with a version number 'Ver. 0100-01-79'. It contains a table with columns 'No.', 'Name', and 'Value'. The table lists several settings, with the first three rows highlighted in blue. At the bottom of the window, there are buttons for 'Set', '-', '+', 'ResetMDC', 'Default', and 'P.1'.

No.	Name	Value
17000	\$CustomPtn	0000
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Coupling	3) Coupling12
17301	\$Port1-Protocol	13) XDS-a VDCP R1
17302	\$Port2-Protocol	14) XDS-a VDCP P1
17303	\$Port3-Protocol	4) VTR-a
17304	\$Port4-Protocol	4) VTR-a

特殊な使用方法

Collection 機能を使用せずに直接プロトコル等を設定する。

前回の設定内容は Sio/Consol 内に保持しています。

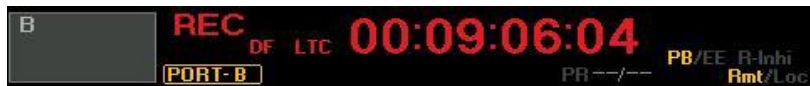
The screenshot shows a window titled 'Menu - Collection' with a version number 'Ver. 0100-01-79'. It contains a table with columns 'No.', 'Name', and 'Value'. The table lists several settings, with the first row highlighted in blue. At the bottom of the window, there are buttons for 'Set', '-', '+', 'ResetMDC', 'Default', and 'P.1'.

No.	Name	Value
17000	\$CustomPtn	0000
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Coupling	1) Free
17301	\$Port1-Protocol	1) Free
17302	\$Port2-Protocol	1) Free
17303	\$Port3-Protocol	1) Free
17304	\$Port4-Protocol	1) Free

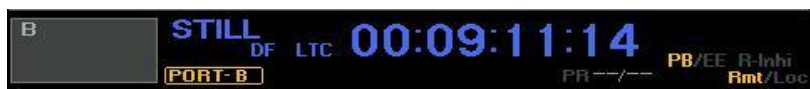
9.2 通常機能

9.2.1 録画の開始と再生

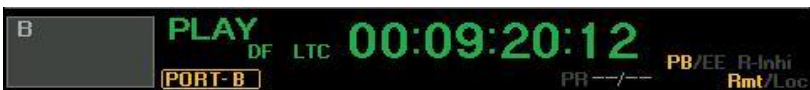
録画の開始 REC+PLAY を押すと収録を開始します。
VTR プロトコル: 収録を開始します。
収録中は“赤”表示になります。



録画の停止 REC + STOP ボタンを押すと収録を停止します。
停止中は“青”表示になります。

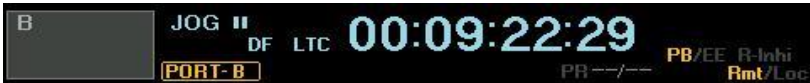


再生動作 PLAY ボタンで再生します。
再生中は“緑”表示になります。



バリエブル再生動作

バリエブル再生中は“水色”表示になります。



ディスクレコーダ再生動作 通常モード使用時

- 1) PORT 選択ボタンでポートを選択します。
- 2) マテリアルリスト画面でファイルを選択し Load ボタン(P2-F1)で読み込みます。
- 3) デバイスステータス画面に戻り、選択したファイルが読み出されている事を確認します。



- 4) PLAY ボタンで再生します。

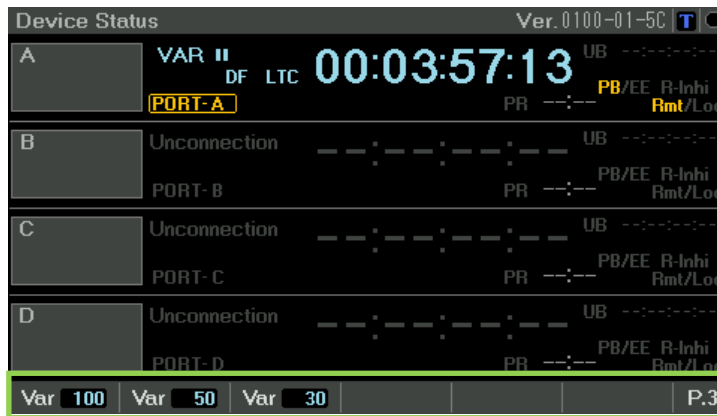
ディスクレコーダ再生動作 カップリングモード使用時

カップリング画面では収録ポート素材を再生ポートに読み出し、追っかけ再生する事が可能です。

SFT+PLAY ボタン又は F- PLAY ボタンを押します。

※数秒のディレイ(デバイス依存)後再生が開始します。

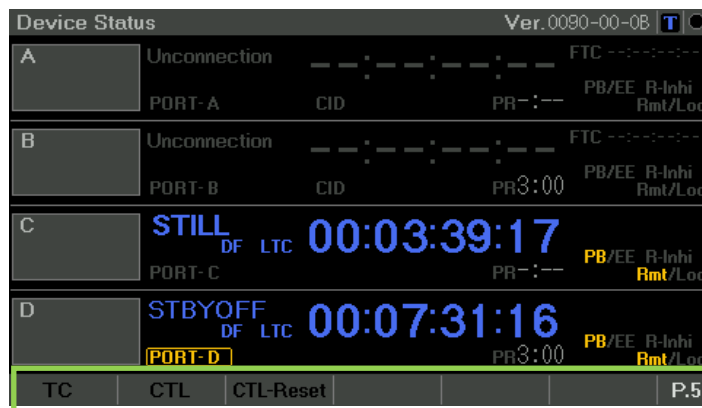
9.2.2 VAR 再生



ファンクション表示エリアの **P3** では VAR1/2/3 の再生が可能です。

関連メニュー < Consol > VAR 再生スピードの設定		
項目番号	項目名	内容
27E01	Preset VAR-1	VAR 再生のスピードを指定します。 100% 設定の変更は可能です。
27E02	Preset VAR-2	VAR 再生のスピードを指定します。 50% 設定の変更は可能です。
27E03	Preset VAR-3	VAR 再生のスピードを指定します。 30% 設定の変更は可能です。

9.2.3 TC と CTL 指定



ファンクション表示エリアの **P5** では TC/CTL の切替えが可能です。

SFT+F1(TC)/F2(CTL)/F3(CTL-Reset) で切替えが可能です。

関連メニュー < Siol > CTL 使用時の注意		
使用デバイスにより CTL と LTC が自動で切替わらない時は本メニューを変更して下さい		
項目番号	項目名	内容
30D06	V:CueupTcType	VTR の Cueup 制御に使用する TC 種別の指定 Free <u>Auto</u> (通常左値固定) TC CTL

9.2.4 PREROLL 指定

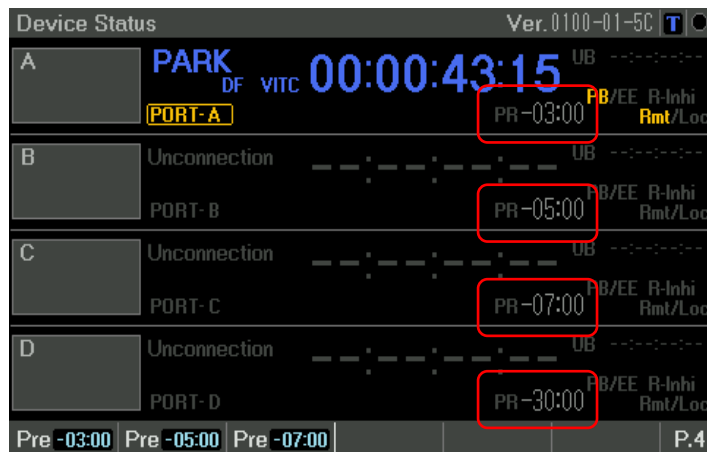
Preroll/Postroll はファンクション表示エリアの P4 で画面毎に Preroll の登録を行います。登録はポート毎・Device Status 画面・Clip List 画面・Play List 画面毎に登録を行う事が可能です。

Preroll 値はファンクションエリアに6個までプリセットしておく事が可能です。通常は-1/-2/-3 を表示していますが、SFT を押すと-4 /-5 /-6 が選択可能です。

※Device Status 画面と ClipList 画面は連動していませんので
各々設定を行って下さい。

【Device Status 画面】

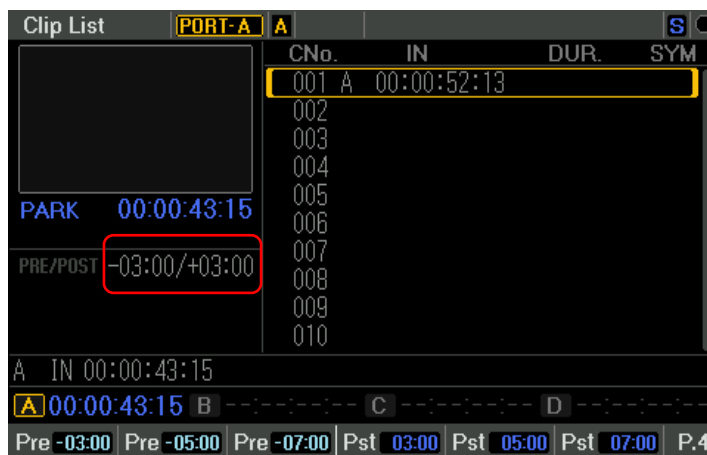
左右△を押すと現在の TC よりプリロール動作します。



【ClipList 画面】

左右△を押すと IN 点の TC よりプリロール動作します。

SFT+左右△を押すと IN 点の TC に CUE UP します。



【PlayList 画面】

左右△を押すと IN 点の TC よりプリロール動作します。

SFT+左右△を押すと IN 点の TC に CUE UP します。



関連メニュー < Consol > プリセット時間は MENU で変更する事が可能です。		
項目番号	項目名	内容
27901	Preroll-1	プリロール時間の指定 <u>03:00</u> 時間変更可能です。
27902	Preroll-2	プリロール時間の指定 <u>05:00</u> 時間変更可能です。
27903	Preroll-3	プリロール時間の指定 <u>07:00</u> 時間変更可能です。
27904	Preroll-4	プリロール時間の指定 <u>10:00</u> 時間変更可能です。
27905	Preroll-5	プリロール時間の指定 <u>20:00</u> 時間変更可能です。
26906	Preroll-6	プリロール時間の指定 <u>30:00</u> 時間変更可能です。
27911	PostRoll-1	ポストロール時間の指定 <u>03:00</u> 時間変更可能です。
27912	PostRoll-2	ポストロール時間の指定 <u>05:00</u> 時間変更可能です。
27913	PostRoll-3	ポストロール時間の指定 <u>07:00</u> 時間変更可能です。
27914	PostRoll-4	ポストロール時間の指定 <u>10:00</u> 時間変更可能です。
27915	PostRoll-5	ポストロール時間の指定 <u>20:00</u> 時間変更可能です。
27916	PostRoll-6	ポストロール時間の指定 <u>30:00</u> 時間変更可能です。

9.2.5 GOTO 機能

タイムコードをテンキーにて入力し CUE UP する機能です。

【Device Status 画面】

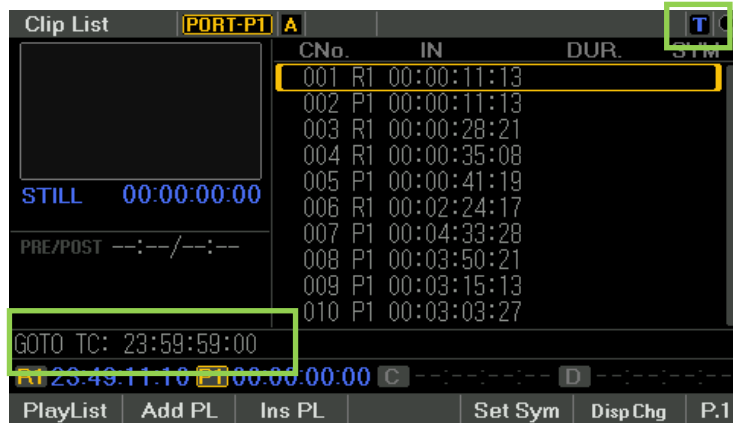


テンキー部で数字キーを押すと、TC 表示部が GOTO 表示になり TC 入力可能です。

TC 入力後 # を押すと CUE UP します。

入力を途中でキャンセルする場合は ESC を押して下さい。

【Clip List 画面】



テンキー部で数字キーを押すと、GOTO 表示になり TC 入力可能です。

TC 入力後 # を押すと CUE UP します。

入力を途中でキャンセルする場合は ESC を押して下さい。

9.3 クリップリスト機能

CUE キー及び IN キー/OUT キーを押すと、対象機器のタイムコードをクリップリストに登録して、頭出しを行う事が可能です。タイムコードの登録は、IN 点の登録と IN/OUT 点の登録が可能です。クリップの表示は3パターンの表示方法を切替えて使用する事が可能です。画面の切替えはファンクション表示エリアの DispChg(F6)で行います。

登録可能数 : 1ポートあたり 999 個

【クリップリスト簡易モニタ画面】

表示部

選択ポート

Clip 情報表示エリア

ステータス表示部

CUEUP 完了マーク

Clip の選択

Clip 情報表示エリア

CNo.	IN	DUR.	SYM
001	D 00:00:05:07		
002	D 00:00:07:12		
003	D 00:00:09:29		
004	D 00:00:17:12		
005	D 00:00:20:04		
006	D 00:06:00:03	04:15	
007			
008			
009			
010			

IN 00:06:10:07 OUT 00:06:14:06

A --- B --- C 00:03:39:17 D 00:06:00:04

PlayList Add PL In PL Set Sym Disp Chg P.1

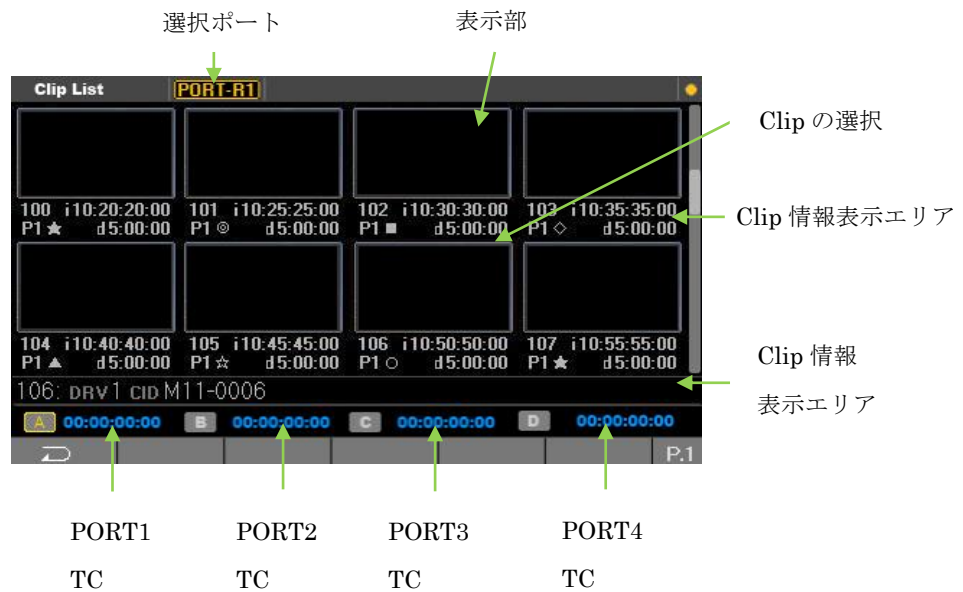
PORT1 TC PORT2 TC PORT3 TC PORT4 TC

※表示部は黒画面固定となります。

【クリップリスト画面】



【クリップリスト サムネイル画面】



※登録可能なサムネイル画像は100枚です。

※本画面の時のみ、サムネイル画像の変更が可能です。

P.1+SFT ボタンで F5:ImageReplace を押すと現在の映像をサムネイル画像に再登録する事が可能です。

※表示部は黒画面固定となります。

9.3.1 Clip の操作概要

クリップリスト画面では下記の機能がファンクションエリアを使用して操作する事が可能です。

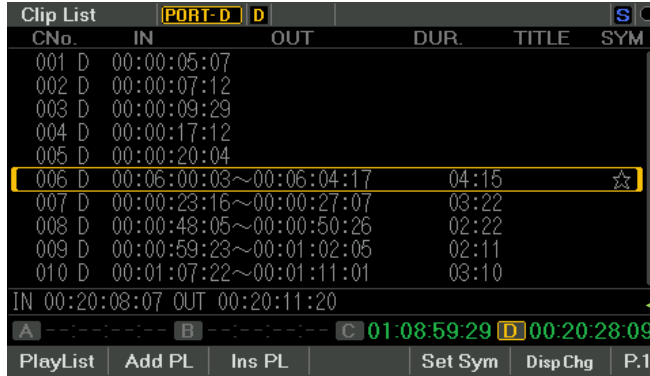
ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	PlayList	Add PL	Ins PL		SetSym	DispChg
P.1 Shift	Material-L		OvwPL			Monitor
P.2	PlayList		Copy	Paste	Delete	DispChg
P.2 Shift	Material-L				Delete	
P.3					All Delete	
P.3 Shift					All Delete	
P.4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P.4 Shift	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6	Postroll-4	Postroll-5	Postroll-6

- 【PlayList】 プレイリスト画面に移行します。
- 【Material-L】 素材リスト簡易モニタ画面に移行します。
- 【Monitor】 モニタ画面に移行します。※画像は表示しません。
- 【Add PL】 選択している CUE 点を PLAY LIST の最後に追加登録します。
- 【Ins PL】 選択している CUE 点をプレイリストに挿入登録します。
- 【Ovw PL】 選択している CUE 点をプレイリストに上書き登録します。
- 【Set Sym】 SYM 欄に○▲★等のシンボルを入れる事が出来ます。
- 【Set Title】 TITLE 欄に英数カナ文字を入れる事が出来ます。
- 【DispChg】 画面表示を切替ます。
- 【Copy】 クリップをコピーします。
- 【Paste】 クリップをペーストします。
- 【Delete】 クリップを削除します。
- 【All Delete】 全てのクリップを削除します。
- 【Preroll-*】 Preroll 値を SET します。
- 【Postroll-*】 Postroll 値を SET します。

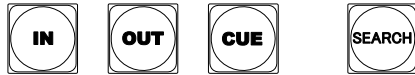
9.3.2 クリップの登録操作

CUE 点は、IN/OUT 点登録と IN 点登録を混在して登録する事が可能です。



Clip 情報
表示エリア

MARK キー



IN/OUT はクリップ情報表示エリアに入り **CUE ボタン**で登録されます。

CUE ボタンのみ押すと **IN 点**として登録されます。

CUE 点の登録は未登録部分に登録する **SEARCH 機能**と

選択した場所から上書登録する **OveWrite 機能**がメニューで選択可能です。

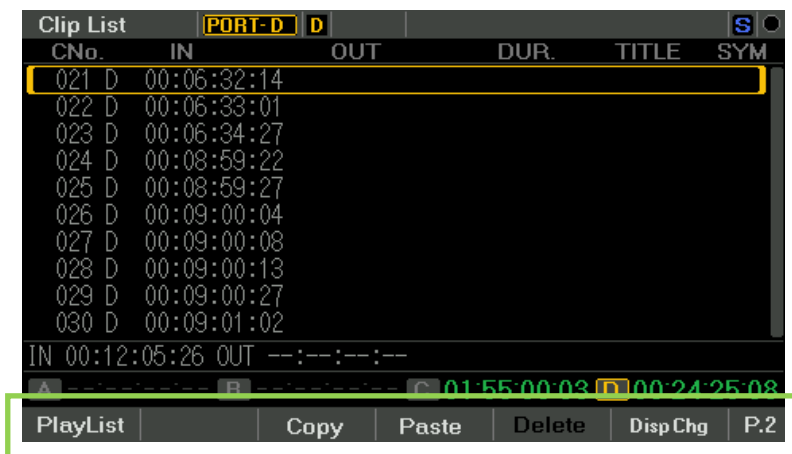
関連メニュー < Consol > Clip の登録方法の変更		
項目番号	項目名	内容
29601	ClipList-SetMode	Clip List へのCUE点の登録方法を選択します。 Search : 若番より空いている所に登録します。 OverWrite : カーソル位置に上書します。

9.3.3 クリップの編集

登録したクリップ点は編集を行う事が可能です。

編集を行いたいクリップの頭出しを行い再登録点を選択し **SFT+IN** 又は **SFT+OUT** で再登録する事が可能です。

9.3.4 クリップのコピペと削除操作



クリップのコピペ

登録したクリップはコピペする事が可能です。

例えば、021 番のクリップを 090 番の位置にコピーする場合。

- ① 021 番クリップの選択位置で **Copy** を押す。
- ② 上下カーソルキー等で 090 番の位置に移動する。
- ③ 090 番の位置で **Paste** を押すことでコピーされます。

※以降、IN/OUT/CUE ボタンによる CUE 点登録を再開する場合は、
選択カーソルを登録したい位置に戻して下さい。

※クリップは選択カーソル位置に上書きされます。

クリップの削除

登録したクリップの削除は、**SFT+Delete** で行います。

※削除したクリップ 1 個は内部バッファに保存していますので、**Paste** で使用可能です。

クリップの全削除

登録したクリップの削除は、**P3** ページへ移動して **SFT+All Delete** で行います。

CUE 点は電源の投入時に自動で削除する事も可能です。

関連メニュー		
項目番号	項目名	内容
27402	PwrOn-CueInitMode	電源投入時 CUE データの削除指定 Disable : 削除しない Enable : 削除する。

9.4 素材リスト機能(マテリアルリスト)

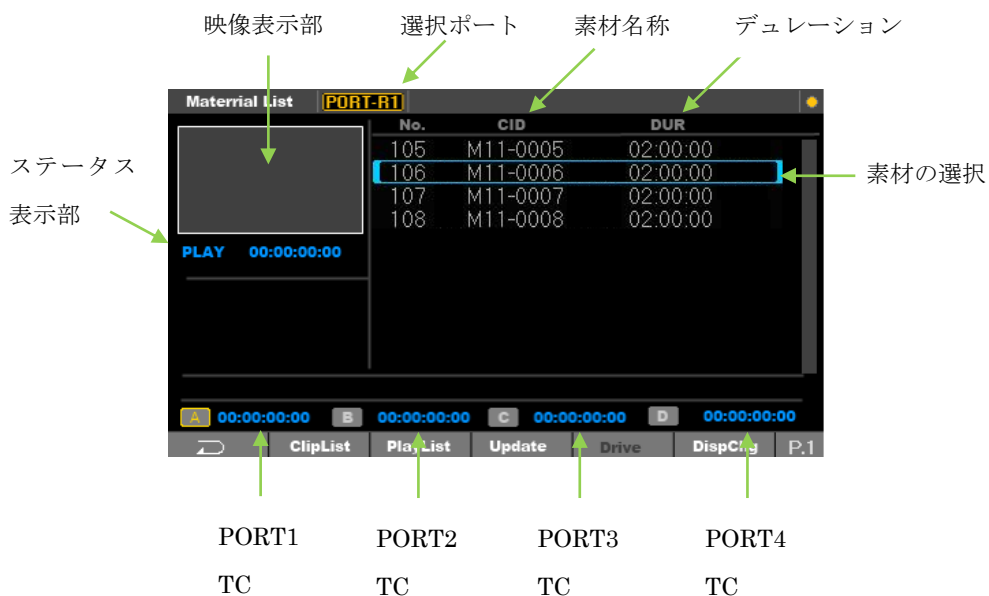
マテリアルリスト画面ではレコーダ内の素材一覧を読み込み表示・選択・読み出しを行う事が可能です。また収録時は自動でファイル名を付け収録を行います。

マテリアルリストの表示は2パターンの表示方法を切替えて使用する事が可能です。画面の切替えはファンクション表示エリアの **DispChg (F6)** で行います。

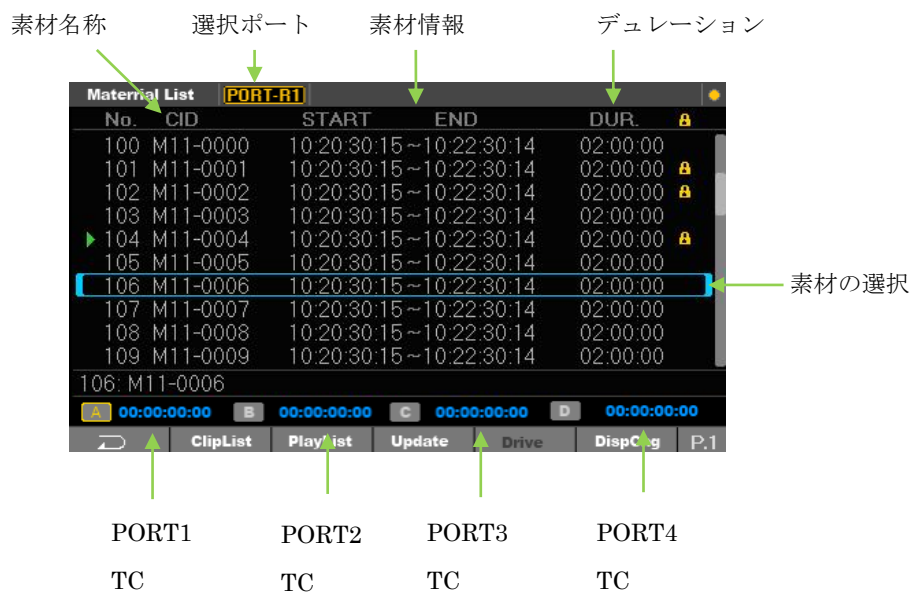
※VDCP プロトコル使用時

リストの表示件数 : 9999件

【マテリアルリスト 素材リスト簡易モニタ画面】





【マテリアルリスト 素材リスト画面】



9.4.1 Material 操作概要

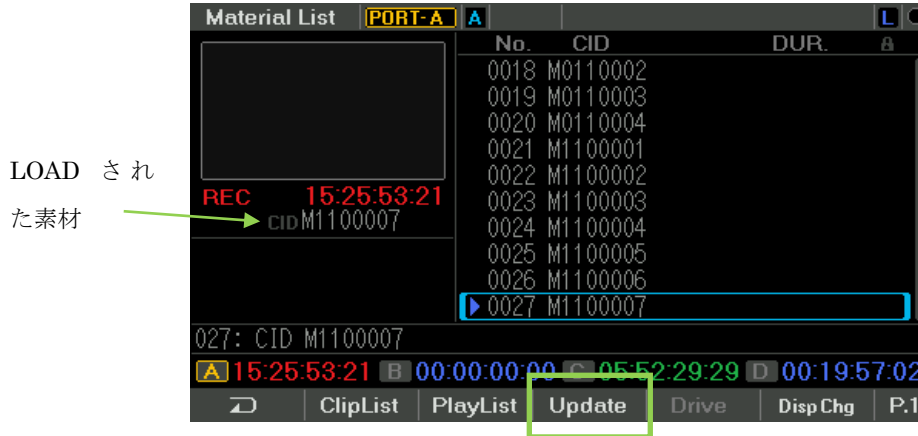
素材表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1		ClipList	PlatList	Update	Drive	DispChg
P.1 SFT						Monitor
P.2		Load	Protect	Info		DispChg
P.2 SFT		Unload			Delete	
P.3						
P.3 SFT					All Delete	
P.4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3			
P4.SFT	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6			

【クリップリスト】	クリップリスト画面に移行します。
【プレイリスト】	プレイリスト画面に移行します。
【Update】	機器の素材一覧を取得します。
【Drive】	未対応
【DispChg】	表示画面を切り替えます。
【Monitor】	モニタ画面に切り替えます。
【Load】	選択したファイルを Load します。
【UnLoad】	未対応 ※選択したファイルを UnLoad します。
【Protect】	未対応 ※選択したファイルを Protect します。
【Info】	未対応 ※選択したファイルj情報を表示 します。
【Delete】	素材を削除します。
【AllDelete】	全ての素材を削除します。(非対応)
【Preroll-*】	Preroll 値を SET します。

9.4.2 素材の呼び出し

素材エリアでは対象機器のファイル情報の一覧の取得が可能です。



Update ボタンを押すと、ファイルの一覧を取得します。

上下▲又は JOG ダイヤル (SFT+上下▲)でファイルを選択し、CUE UP を行って下さい。

CUE UP は 左矢印キー 又は P2 ページの Load(F2)ボタンで可能です。

※素材リスト画面の青色三角マークは、ロード中ファイルです。

※ファイル名は UTF-8 の文字コードで 63 バイトに対応しています。

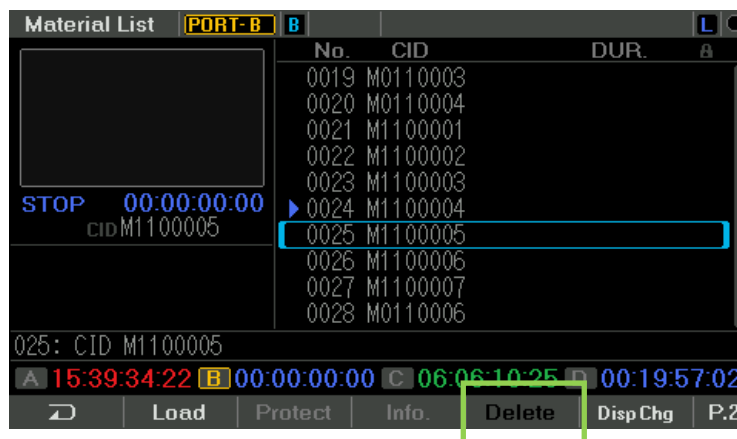
拡張子等の関係で弊社では下記の文字数での使用を推奨しております。

半角英数 49文字 / 全角 18文字

(Ver. S0100-01-56 より対応)

9.4.3 素材の削除

素材エリアでは対象機器のファイルの削除が可能です。



Material List 内の P2 の Delete を押すと、削除確認メッセージが表示され削除を行う事が可能です。

9.4.4 収録時のファイル名称について

録画時にファイル名称を発行して収録を行います。

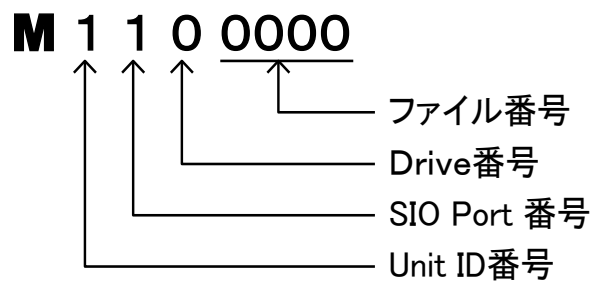
ファイル名は、“M110000”の様なファイル名が作成されます。

REC、STOPを繰り返すたびに、ファイルを作成しますので、ファイル名は”M1100001””

M1100002”のように下四桁が変わっていきます。0000～9999までファイル番号が作

成されます。9999を過ぎると、ファイル名は、0000から作成されます。

ファイル名の意味合いを下記に説明します。



9.5 カップリング機能

カップリング機能とは、メモリーレコーダ／ディスクレコーダ等で収録を行いながら再生する事が可能な機器に対して、行う制御です。

収録系制御と再生系の制御の2ポートを同時に制御する事により、2ポートを意識する事無くご使用頂けます。

※ 対象機器との接続は2ポート使用します。(REC ポート／PLAY ポート)

9.5.1 カップリング機能の設定

SIOの動作画面及びプロトコルの選択は Collection 画面で行います。



No.	Name	Value
17002	\$PcSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Default	1) No
17101	\$Port-Coupling12	2) Yes
17102	\$Port-Coupling34	1) No
17103	\$Port-Coupling12/34	1) No
17104	\$Port-Coupling1234a	1) No
17301	\$Port1-Protocol	5) XDS-a VDCP R1
17302	\$Port2-Protocol	6) XDS-a VDCP P1
17303	\$Port3-Protocol	4) VIR-a
17304	\$Port4-Protocol	4) VTR-a

使用ポートと対象機器を選択し、- + で選択を行い Set で切替えます。

Set後、Shft + ResetMDC ボタンで再起動がかかり、設定が完了します。

9.5.2 カップリング機能の操作

カップリング設定を行うと、ポート選択ボタンが2か所点灯します。



PORT SELECT

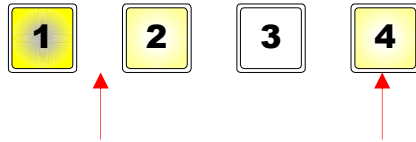
点滅 …… 点滅しているポートの TC が登録されます。

収録画像の TC で CUE 点を登録するか、再生ポートの TC で CUE 点を登録するか選択が可能です。

9.5.3 カップリング機能 + VTR 制御の操作

カップリング設定を行うと、ポート選択ボタンが2か所点灯します。

同時に VTR の制御を行う事も可能です。



カップリング制御

SFT+PORT SELECT ボタンで選択が可能

通常のカップリング機能と同様に、収録画像の TC で CUE 点を登録するか、再生ポートの TC で CUE 点を登録するか選択が可能です。

同時に PORT4 で収録した TC も独立して CUE 点を登録する事も可能です。

Ver0100-01-5B より F-PLAY ボタンが VTR プロトコルでも動作する様になりました。

関連メニュー 収録ポートからの再生ポートのディレイ量のパラメータ		
項目番号	項目名	内容
30907	Cue:RecTc-SchDly	自動追いかけて再生制御での再生遅延量の設定 XDS 210 frame F-VTR 30frame SR1K 30frame

9.6 パラ制御機能


パラ制御機能とは、ポート選択ボタンで選択されたポートを同時に制御します。

※ Refに同期して同時にコマンドを出す機能で調相制御は行っていません。

※ 対象機器によりずれる可能性があります。

9.6.1 パラ制御機能の設定

SIOの動作画面及びプロトコルの選択は Collection 画面で行います。



No.	Name	Value
17000	\$CustomPtn	0000
17002	\$PrSysPtn	1) Free
17100	\$Port-Coupling	2) Default
17301	\$Port1-Protocal	4) VTR-a
17302	\$Port2-Protocal	4) VTR-a
17303	\$Port3-Protocal	4) VTR-a
17304	\$Port4-Protocal	4) VTR-a

使用ポートを **Default** にするとパラ制御が可能です。

対象機器を選択し、- + で選択を行い Set で切替えます。

Set後、Shft + ResetMDC ボタンで再起動がかかり、設定が完了します。

9.6.2 パラ制御機能の操作



1~4の SW 選択で切替ります。

複数ポートを同時制御する時は、**SFT+制御ポート**で選択可能です。

9.6.3 パラ制御の CLIP 点(CUE 点)の登録エリアの変更

複数台同時にクリップ点の登録を行うと、各ポート 毎にクリップ点を登録します。

設定により登録エリアを変更する事が可能です。

例えば、PORT1で登録したクリップ点を他の PORT で CUE UP する事が可能です。

設定箇所は 2ヶ所です。

関連メニュー <Collection> 自動設定の解除		
項目番号	項目名	内容
17100	\$Port-Default	PORT の使用方法を設定します VTR 単体制御及び同時制御を行う時に選択します No に設定して下さい

※Yes の設定すると CUE の登録エリアは A~D になります。

◆設定例 SIO1 の CLIP(CUE)点で SIO2~4 を CUE UP する設定

関連メニュー <Console> CUE の登録エリアの変更		
項目番号	項目名	内容
27601	Port1-ListBank	PORT1 選択時でのファイルリストの登録エリアの指定。 Bank-A Bank-B Bank-C Bank-D △本項目は Collection メニューで自動設定されます。
27602	Port2-ListBank	PORT2 同上 Bank-B
27603	Port3-ListBank	PORT3 同上 Bank-C
27604	Port4-ListBank	PORT4 同上 Bank-D

※SIO1 = BankA / SIO2 = BankB / SIO3 = BankC / SIO4 = BankD

9.7.4 Diff 表示機能

複数ポートを同時に再生する時に、再生 TC のズレを確認する事が可能です。
点減ポートの TC に対する相対位置(Diff) が表示されます。



Ver0100-01-68 より対応

関連メニュー Diff 表示の指定		
項目番号	項目名	内容
29101	DvSts:LwrTcTyp	Diff 表示の指定 1) <u>N</u> ormal 表示しません 2) Diff(MasterDev) 点減ポートの TC の相対値を表示 3) Diff(VirMcn) 未使用

9.6.5 パラ制御の位置合わせ CUE UP 操作

複数台の JOG 操作等を行うと、TC がズレる事があります。
ズレを吸収する時は、STOP ボタンを長押しするとマスターポート(点減)している機器に合わせこみを行う事が可能ですので下記の MENU を設定して下さい。

関連メニュー<Console> 位置合わせ CUE UP 操作		
項目番号	項目名	内容
28205	StopSwLgOprMod	パラ選択時に STOP ボタンを長押しするとマスターポートに CUEUP します 3) <u>D</u> isable 4) MasterCueup

9.7 PLAY LIST 機能

クリップリストで作成したクリップをプレイリストに並べる事により登録した順番に再生する機能です。連続再生とシングル再生の切替は Shift+F2 ボタン【PlyMod】で行います。

※VDCP プロトコル使用時

登録可能数 300件

(注意) 連続再生機能は VDCP プロトコル選択時のみ可能です。

9.7.1 プレイリスト画面の説明

プレイリストは下記の画面より選択可能です。

【プレイリスト 簡易モニタ画面】

M: 連続再生モード
S: シングル再生モード

選択ポート

映像表示部

ステータス表示部

List 情報表示

Clip の選択

ファイル情報表示エリア

No.	CNo.	IN	DUR.	SYM
001	001	P2 00:02:30:00	10:01	
002	001	P2 00:02:30:00	10:01	
003	001	P2 00:02:30:00	10:01	
004	001	P2 00:02:30:00	10:01	
005	001	P2 00:02:30:00	10:01	

PLAY-C 00:02:30:22
CID M1300029

LIST *01
TOTAL 00:00:50:05
REMAIN 00:00:29:10
PRE/POST --/--/--

01:001 ~00:02:40:00 CID M1300029

R1 00:00:00:00 P1 00:07:15:07 R2 00:00:00:00 P2 00:02:30:22

ClipList PL-Sel Set-Start Set-End Set-Sym Disp Chg P.1

【プレイリスト 詳細画面】

No.	CNo.	IN	OUT	DUR.	TITLE	SYM
001	001	P2 00:02:30:00	~00:02:40:00	10:01		
002	001	P2 00:02:30:00	~00:02:40:00	10:01		
003	001	P2 00:02:30:00	~00:02:40:00	10:01		
004	001	P2 00:02:30:00	~00:02:40:00	10:01		
005	001	P2 00:02:30:00	~00:02:40:00	10:01		

L*01 T 00:00:10:01 R 00:00:10:01 I01: CID M1300029

R1 00:00:00:00 P1 00:07:15:07 R2 00:00:00:00 P2 00:02:30:00

ClipList PL-Sel Set-Start Set-End Set-Sym Disp Chg P.1

【クリップ&プレイリスト プレイリスト操作画面】

CNo.	IN	DUR.	SYM	No.	CNo.	DUR.	SYM
001	P2 00:02:30:00	10:01		001	001	P2 10:01	
002				002	001	P2 10:01	
003				003	001	P2 10:01	
004				004	001	P2 10:01	
005				005	001	P2 10:01	
006							
007							
008							
009							
010							

~00:02:40:00 CID M1300029 L*01 R 00:00:10:01

R1 00:00:00:00 P1 00:07:15:07 R2 00:00:00:00 P2 00:02:30:00

ClipList PL-Sel Set-Start Set-End Set-Sym Disp Chg P.1

ClipList

PlayList

9.7.2 プレイリストの操作概要

ファンクション表示エリアでは、P ボタンと SFT 押しで下記の機能に切り替ります。

P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	ClipList	PL-Sel	Set-Start	Set-End	SetSym	DispChg
P.1 Shift	Material-L	PlyMod	ON/OFF	Loop		Monitor
P.2	ClipList		Copy	Paste		DispChg
P.2 Shift	Material-L				Delete	
P.3						
P.3 Shift					All Delete	
P4	Preroll-1	Preroll-2	Preroll-3	Postroll-1	Postroll-2	Postroll-3
P4 Shift	Preroll-4	Preroll-5	Preroll-6	Postroll-4	Postroll-5	Postroll-6

- 【ClipList】 クリップリスト画面に移行します。
- 【PL-Sel】 プレイリスト Sel 画面に移行します。
- 【Set-Start】 プレイリストの Start 点を指定します。
- 【Set-End】 プレイリストの END 点を指定します。
- 【SetSym】 SYM シンボル登録が可能です。
- 【DispChg】 表示画面を切り替えます。
- 【Material-L】 Material 画面に移行します。
- 【PlyMod】 連続再生を行うかシングル再生を行うか切替ます。
- 【ON/OFF】 連続再生するクリップの ON/OFF です。
- 【Loop】 Loop 再生を指定します。
- 【Copy】 プレイリストのコピーを行います。
- 【Paste】 プレイリストのペーストを行います。
- 【Delete】 プレイリスト内クリップの削除を行います。
- 【All Delete】 プレイリスト内全てのクリップの削除を行います。
- 【Preroll-*】 Preroll 値を SET します。
- 【Postroll-*】 Postroll 値を SET します。

9.7.3 PLAY LIST 連続再生

連続再生制御機能とは IN 点と OUT 点を登録したクリップを連続で再生を行う機能です。
連続再生時に CUE UP を行う為画像は乱れます。

※ 本機能は対象機器によりクリップの最小 Duration を変更する必要があります。

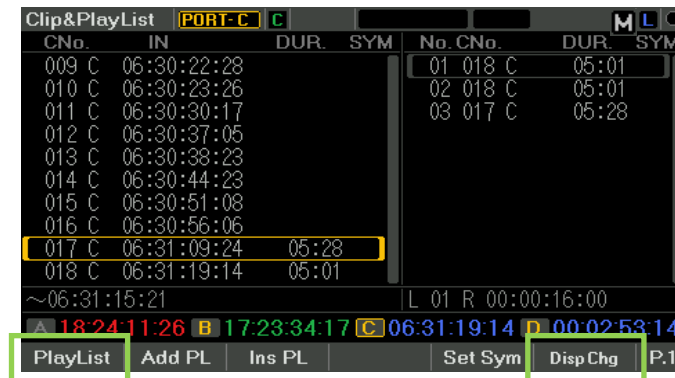
関連メニュー <Sio>		
項目番号	項目名	内容
31600	Vdcp:ClipMinDur	VDCP プロトコルでクリップの最小サイズ指定 Sio1 60 frame/Sio2 90frame/Sio3 60frame/Sio4 60frame

※連続再生を行う時は SFT+F2(PlyMod)で“M”表示にしてください。



クリップリストとプレイリストの切替

クリップリストとプレイリストの切替は PlayList(F1)と DispChg(F6)で切替える事が可能です。



クリップの登録

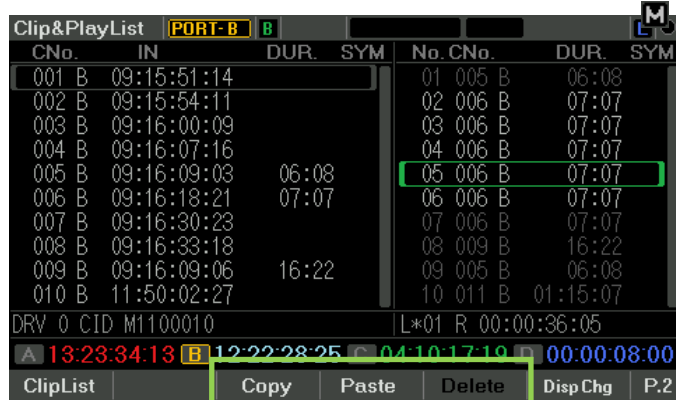
クリップの登録は「クリップリスト画面」より AddPL(F2)又は InsPL(F3)で行うか、
「クリップ&プレイリスト画面」より AddPL(F2)又は InsPL(F3)で行います。

※登録可能なクリップの最小 Duration は3秒です。(デバイスに依存します)



プレイリストに登録したクリップの編集

プレイリストに登録したクリップはコピー及び削除が可能です。



CNo.	IN	DUR.	SYM	No.	CNo.	DUR.	SYM
001	B 09:15:51:14			01	005	B 06:08	
002	B 09:15:54:11			02	006	B 07:07	
003	B 09:16:00:09			03	006	B 07:07	
004	B 09:16:07:16			04	006	B 07:07	
005	B 09:16:09:03	06:08		05	006	B 07:07	
006	B 09:16:18:21	07:07		06	006	B 07:07	
007	B 09:16:30:23			07	006	B 07:07	
008	B 09:16:33:18			08	009	B 16:22	
009	B 09:16:09:06	16:22		09	005	B 06:08	
010	B 11:50:02:27			10	011	B 01:15:07	

DRV 0 CID M1100010 L*01 R 00:00:36:05

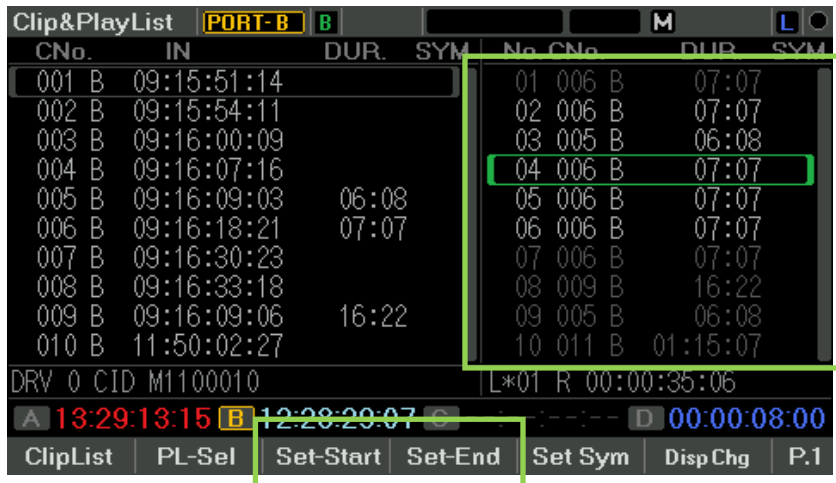
A 13:23:34:13 B 12:22:28:25 C 04:10:17:19 D 00:00:08:00

ClipList Copy Paste Delete Disp Chg P.2

選択したクリップを移動する時は、Delete(SFT+F5)を行い。
移動先に Paste して下さい。

プレイリストの再生範囲の指定と Loop 設定

プレイリスト内で再生範囲を指定して連続再生を行う事が可能です。



プレイリストで白い部分が連続再生可能です。

Set-Start(F3) と Set-End(F4) で指定を行う事が可能です。

P1 表示の時、SFT ボタンを押す事で個別に ON/OFF する事も可能です。



又、プレイリストでは、LOOP 指定する事も可能です。

プレイリストの再生

連続再生を開始するには、開始ファイルを選択して CUE UP(左▲)します。

プレイリスト画面の緑色三角マークは、連続再生可のスタンバイ状態と、実行中クリップを示すものです。この三角マーク表示中は、“F-PLAY” ボタンも点滅(スタンバイ状態の意)します。

任意の有効クリップ位置で左矢印キーで(Preroll を含めた)Cueup をさせるとスタンバイ状態になります。

CUE UP が完了すると、クリップの左側に黄色の▲が表示されます。

F-PLAY ボタンで連続再生を開始します。

9.7.4 PLAY LIST シングル再生操作

シングル再生機能とはIN点とOUT点を登録したクリップを順番に再生を行う機能です。

OUT点で、自動的に次のクリップの頭出しを行います。

VTRプロトコル/VDCPプロトコル何れでも操作可能です。

※シングル再生機能中にLOOP設定は行わないでください。

※シングル再生を行う時は SFT+F2(PlyMod)で“S”表示にしてください。

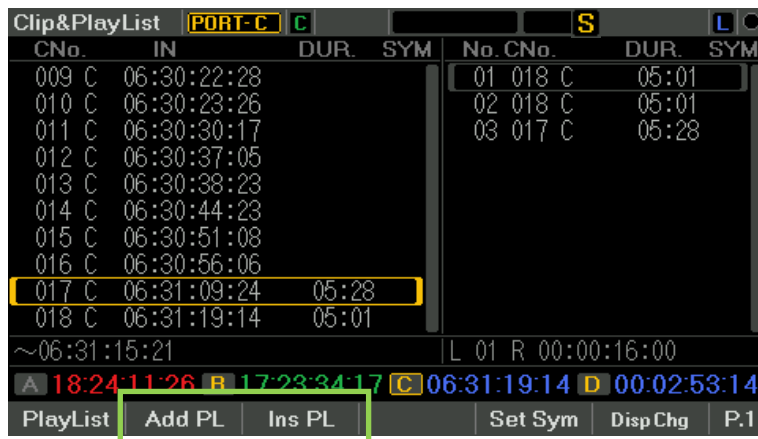


クリップの登録

クリップの登録は「クリップリスト画面」より AddPL(F2)又は InsPL(F3)で行うか、

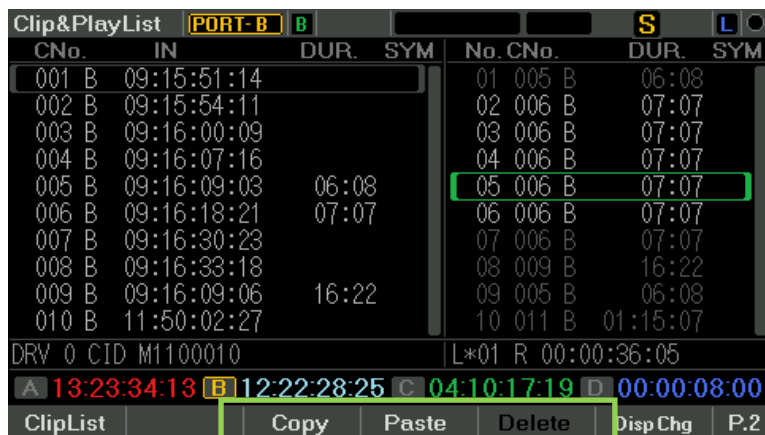
「クリップ&プレイリスト画面」より AddPL(F2)又は InsPL(F3)で行います。

※登録可能なクリップの最小 Dulation は3秒です。



プレイリストに登録したクリップの編集

プレイリストに登録したクリップはコピー及び削除が可能です。



選択したクリップを移動する時は、Delete(SFT+F5)を行い。

移動先に Paste して下さい。

プレイリストの再生

シングル再生を開始するには、開始ファイルを選択して CUE UP(左▲)します。
プレイリスト画面の緑色三角マークは、連続再生可のスタンバイ状態と実行中のクリップを示すものです。
三角マーク表示中は、F-PLAY ボタンも点滅(スタンバイ状態の意)します。
F-PLAY を押すとIN点からOUT点間の再生を行い。次のファイルの頭で頭出しを行いスタンバイ状態になります。

プレイリストの再生中のNEXT

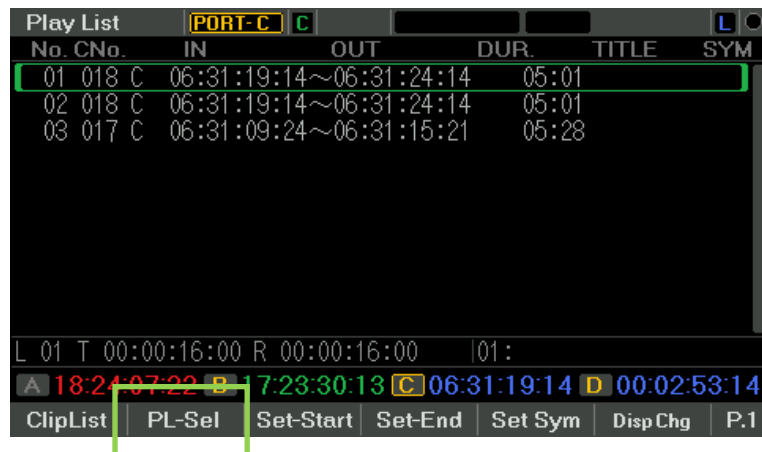
シングル再生中に次のファイルの頭出しを行う事が可能です。
SFT+下△でNEXT動作、SFT+上△で Prev 動作します。

GPI機能

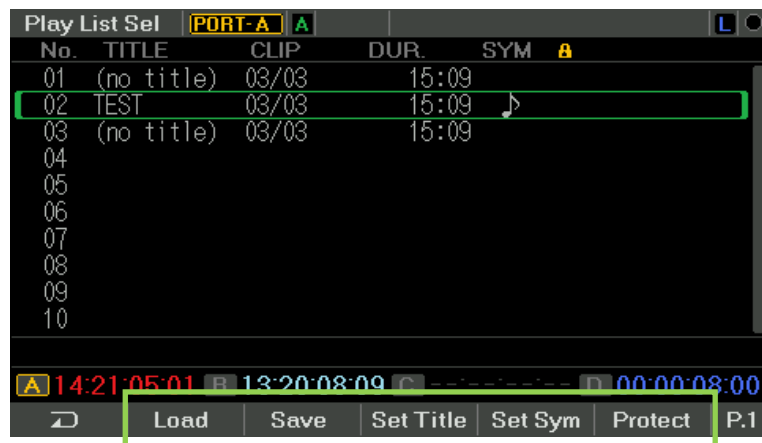
上記の動作をGPIからも行う事が可能です。
詳細は9. 11項のGPI機能を参照して下さい。

9.7.5 プレイリストのBank登録

作成したプレイリストはBankに登録しておく事が可能です。



プレイリスト画面より PL-Sel を選択すると「プレイリスト Sel」画面に入ります。



プレイリストを登録したい場所にカーソルを移動して SAVE を行うとプレイリストの登録が可能です。

登録した List には、タイトルやシンボルを付ける事が可能です。

必要に応じて Protect を行う事が可能です。

9.8 TimeCode 機能

TimeCode 機能を使用すると、収録時の TC をコントローラより出力する事が可能です。
複数台の同時収録で同一 TC での収録を行う時に使用が可能です。

【操作画面】



機能説明		
①	LTC IN	LTC IN(入力)の TimeCode を表示します。
②	LTC OUT	LTC OUT(出力)の TimeCode を表示します。
③	INT/EXT	LTC OUT に出力する TimeCode の切替です。 F1 ボタン(OutMod)で下記の切替が可能です。 1) OFF 出力しません(無信号) 2) THR LTC IN の TC をそのまま出力します。 3) INT プリセットした TimeCode から歩進します。
④	TC プリセット	テンキーで入力した TC を表示します。 INT TimeCode をプリセットする時は#ボタンを押してください。
⑤	Reset	TimeCode のリセットを行います。(RESET 値 00:00:00:00)
⑥	Run/Stop	INT TimeCode は REC 時に歩進・停止を自動で行います。 (MENU 設定) F5 キーでの歩進・停止も可能です。
⑦	OutMod	③INT/EXT の切替を行います。

関連メニュー		
項目番号	項目名	設定
68900	\$LtcOut-Default	電源投入時の TC OUT の出力指定 1) <u>Disable</u> : 出力しません。 2) <u>Through</u> : TC IN をスルー出力します 3) <u>0-Still</u> : 00:00:00:00 を出力します 4) <u>0-Start</u> : 0時から歩進します。 5) <u>RTC-Start</u> : 内部時計から歩進します。 6) <u>VirTC</u> : 内部 Timer を出力します 7) <u>X-Still</u> : 電源 OFF の時の TC を出力します。
68903	TcgTrg- RecSwOpr	REC ボタンを押した時に TCG のスタート指定 1) <u>Disable</u> : 何もしません 2) <u>Enable</u> : REC ボタンを押した時にスタート

9.9 VTR 簡易編集機能

簡易編集モードを使用すると2台のVTRを使用して編集を行うことが可能です。
詳細は別紙「簡易編集機能取扱説明書」を参照して下さい。

「簡易編集機能取扱説明書」は下記のURLよりダウンロード可能です。

<http://www.musashi-kk.co.jp/MDC70T.html>

9.10 タイマー機能

Ver0100-01-78よりタイマー収録・再生機能に対応しました。
詳細は別紙「タイマー機能取扱説明書」を参照して下さい。

9.11 GPI 機能

GPI を使用するには、下記の設定を行って下さい。

1) MENU 設定 __SIO

この設定はボタンの操作に関係無く VTR コマンド送信が可能です。

2) MENU 設定 __GPI

この設定は装置のボタンと連動しています。

【詳細設定】

Bit 列を1にすると有効になります。

※Bit 列は 00000000 = IN7 IN6 IN5 IN4 IN3 IN2 IN1 IN0 となります。

SIO 設定は使用するポート毎に切替えて行って下さい。

9.11.1 SIO 毎に設定可能な GPI 機能

設定は使用するポート毎に切替えて設定して下さい。

※VTR プロトコルで使用可能です。(複数選択可 例 Stop + NEXT 等)

Sio メニュー 送受信コマンド		
項目番号	項目名	内容
33100	Gpi:Eject-C	EJECT します。
33101	Gpi:StbyOff-C	STANDBY OFFL します。
33102	Gpi:StbyOn-C	STANDBY ON します。
33103	Gpi:Stop-C	STOP します。
33104	Gpi:Still-C	STILL します。
33105	Gpi:Rec-C	REC します。
33106	Gpi:Play-C	PLAY します。
33107	Gpi:FF-C	F.FWD します。
33108	Gpi:Rew-C	REWIND します。
33109	Gpi:Next-C	GPI 入力 VTR-Next PDW/XDS 拡張コマンド
3310A	Gpi:Prev-C	GPI 入力 VTR-Prev PDW/XDS 拡張コマンド
3310B	Gpi:Top-C	GPI 入力 VTR-Top PDW/XDS 拡張コマンド
3310C	Gpi:End-C	GPI 入力 VTR-End PDW/XDS 拡張コマンド
33200	Gpi:Rem-S	REMOTE 時 ON します。
33201	Gpi:Tape-S	テープが装着されている時 ON します。
33202	Gpi:StbyOn-S	STNDBY ON 時 ON します。
33203	Gpi:Stop-S	STOP 時 ON します。
33204	Gpi:Still-S	STILL 時 ON します。
33205	Gpi:Rec-S	REC 時 ON します。
33206	Gpi:Play-S	PLAY 時 ON します。
33207	Gpi:Fwd-S	FWD(PLAY/REC)時 ON します。
33208	Gpi:FF-S	F.FWD 時 ON します。

33209	Gpi:Rew-S	REW 時 ON します。
3320A	Gpi:Dir-S	逆走行時 ON します。
3320B	Gpi:Jog-S	Jog 時 ON します。
3320C	Gpi:Shuttle-S	Shuttle 時 ON します。
3320D	Gpi:Var-S	Var 時 ON します。
3320E	Gpi:CueBusy-S	Cueup 中 ON します。
3320F	Gpi:CueCmpl-S	Cueup 完了で ON します。
33210	Gpi:SpdMovFw-S	可変速順走行中に ON します。(疑似ステータス)
33211	Gpi:SpdMovRv-S	可変速逆走行中に ON します。(疑似ステータス)
33212	Gpi:Next-S	GPI 出力 VTR-NEXT ※関連 MENU31103
33213	Gpi:Prev-S	GPI 出力 VTR-Prev ※関連 MENU31103
33214	Gpi:Top-S	GPI 出力 VTR-Top ※関連 MENU31103
33215	Gpi:End-S	GPI 出力 VTR-End ※関連 MENU31103
33216	Gpi:Loop-S	GPI 出力 HyperDeck(Ether 経由)Loop ステータス
33300	Gpi:Stop-OutBit	GPI 出力 VTR-Stop イベントパルス Bit の指定 00000000 (対象 Bit 桁を1にすると有効)(以下同)
33301	Gpi:Stop-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33303	Gpi:Play-OutBit	GPI 出力 VTR-Play イベントパルス Bit の指定
33304	Gpi:Play-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame
33306	Gpi:Rec-OutBit	GPI 出力 VTR-Rec イベントパルス Bit の指定
33307	Gpi:Rec-OutPls	上記のパルス幅の指定 0 frame

※ Bit 列の設定は同じビット内で機能が重複しない様に設定を行って下さい。

※ デバイス側が対応していない場合は、ON にならないステータスもあります。

※ 関連 MENU31103 ステータスを表示させるには下記の SIO メニューを”XDCAM”にする必要があります。(SIO はポート毎に設定が可能です。)

Sio メニュー 送受信コマンド		
項目番号	項目名	内容
31103	Sdsk:ModelType	S-Disk プロトコルのモデル指定 MAV (通常左値固定) DR1000 XDCAM ←※設定

9.11.2 本体操作と同等の GPI 機能

下記の GPI 設定はプロトコルには依存しません。(パネル操作と同等の機能です)

Gpi メニュー		
項目番号	項目名	内容
48600	GpiKey-Up	上△ボタンを割り当てる事が可能です 0000_0000 (対象 Bit 桁を 1 にすると有効) (以下同)
48601	GpiKey-Dw	下△ボタンを割り当てる事が可能です
48602	GpiKey-Lf	左△ボタンを割り当てる事が可能です
48603	GpiKey-Rt	右下△ボタンを割り当てる事が可能です
48604	GpiKey-Play&Dw	GPI が ON すると再生します。 GPI が OFF すると下△ボタン (NEXT) に移動します。 ※MENU (27D03) を有効にすると NEXT 時に CUE UP します。
48605	GpiKey-Stop	装置の STOP ボタンと同等です。※1
48606	GpiKey-Rec	装置の REC ボタンと同等です。※1 REC+PLAY で収録を開始します。 REC+STOP で収録を停止します。
48607	GpiKey-Play	装置の PLAY ボタンと同等です。※1
48608	GpiKey-F-Play	装置の F-PLAY ボタンと同等です。※1
48609	GpiKey-PrvClpStby	PlayList にて前の Clip 点に移動して STANDBY 状態になります。
4860A	GpiKey-NxtClpStby	PlayList にて次の Clip 点に移動して STANDBY 状態になります。
4860B	GpiKey- KeyAsn2	BlankKey2 を GPI に割り当てます。
4860C	GpiKey- KeyAsn3	BlankKey3 を GPI に割り当てます。
4860D	GpiKey- KeyAsn7	BlankKey7 を GPI に割り当てます。(MDC-70 のみ)
4860E	GpiKey-GpiStop	GPI STOP 動作
4860F	GpiKey-GpiRec	GPI REC 動作
48610	GpiKey-GpiPlay	GPI PLAY 動作
48611	GpiKey-CurClpStby	GPI Recue 動作
48612	GpiKey-PrevCueup	GPI PREV 動作
48613	GpiKey-NextCueup	GPI NEXT 動作
48700	GpiTly-FplyStby	PlayList にて STANDBY 状態の時に ON になります。
48701	GpiTly-FplyRun	PlayList にて再生中状態の時に ON になります。
48702	GpiTly-StopKey	GPI 停止中に ON になります
48703	GpiTly-RecKey	GPI 収録中に ON になります
48704	GpiTly-PlayKey	GPI 再生中に ON になります

9.12 PANEL INHI 機能

GPI の設定により、本装置のPANELボタンの操作を禁止する事が可能です。

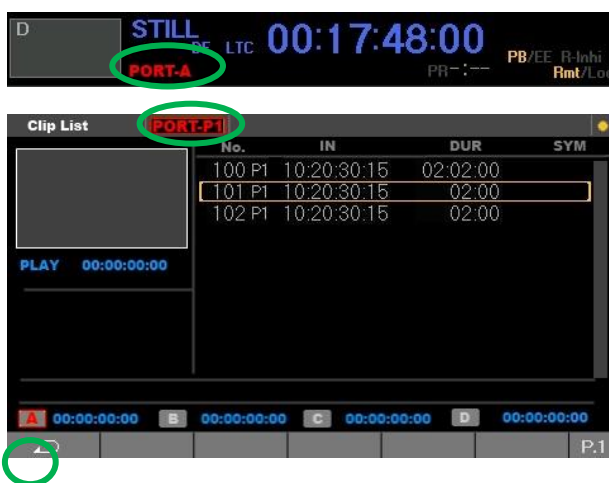
※Inhi機能は PORT 毎に行う事が可能です。

※PORT SELECT ボタンは操作可能です。

※PANEL Inhi 機能では個別にSWの機能を有効にする事も可能です。

【Inhi中】

Inhi中は下記ポート選択表示部が赤くなります。

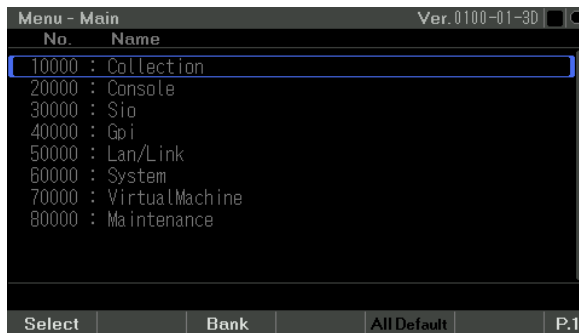


関連メニュー <GPI>		
項目番号	項目名	内容
48800	GpiInhi-Pt1-InBmp	ON すると PORT SELECT ボタン 1 選択時のパネル操作が禁止されます。※48810 で個別にボタンを有効にする事が可能です。
48801	GpiInhi-Pt2-InBmp	ON すると PORT SELECT ボタン2選択時のパネル操作が禁止されます。※48811 で個別にボタンを有効にする事が可能です。
48802	GpiInhi-Pt3-InBmp	ON すると PORT SELECT ボタン3選択時のパネル操作が禁止されます。※48812 で個別にボタンを有効にする事が可能です。
48803	GpiInhi-Pt4-InBmp	ON すると PORT SELECT ボタン 1 選択時のパネル操作が禁止されます。※48813 で個別にボタンを有効にする事が可能です。
48810	GpiInhi-Pt1-EnaKey	PORT SELECT ボタン1 Inhi 機能が ON の時、動作を有効にするボタンを選択可能です。 1) Off 2) Ply >PLAY ボタンのみ有効 3) Ply,Fply >PLAY/F-PLAY ボタンのみ有効 4) Ply,Fply,Var >PLAY/F-PLAY/Var ボタンのみ有効 5) Ply,Fply,Var,Stp >PLAY/F-PLAY/Va/STOP ボタンのみ有効 6) Stop >STOP ボタンのみ有効
48811	GpiInhi-Pt2-EnaKey	PORT SELECT ボタン2 Inhi 機能 同上
48812	GpiInhi-Pt3-EnaKey	PORT SELECT ボタン3 Inhi 機能 同上
48813	GpiInhi-Pt4-EnaKey	PORT SELECT ボタン4 Inhi 機能 同上

9.13 MENU 操作

メニューでは下記の事を行う事が可能です。

- Collection 機能 : Console/Sio を簡単に設定する機能です。
- Console : SW の動作の変更を行う事が可能です。
- Sio : ポート毎の設定が可能です。
- Gpi : GPI の設定が可能です。
- System : System 設定が可能です。

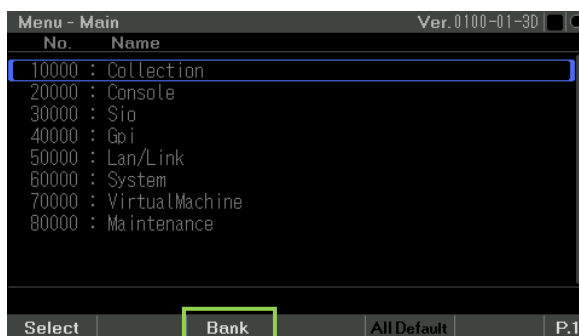


設定は上下▲と+(F4) -(F3)キーで選択を行い Set(F1)キーで登録を行います。

9.14 MENU のバンク設定

Console で操作方法等の設定を行った内容はバンクに保存、読み出しをすることが可能です。 最大保存数 99

又、設定情報を USB メモリに保存しておく事も可能です。



9.15 バージョンアップ機能

ソフトウェアをホームページよりダウンロードして アップデートする事が可能です。

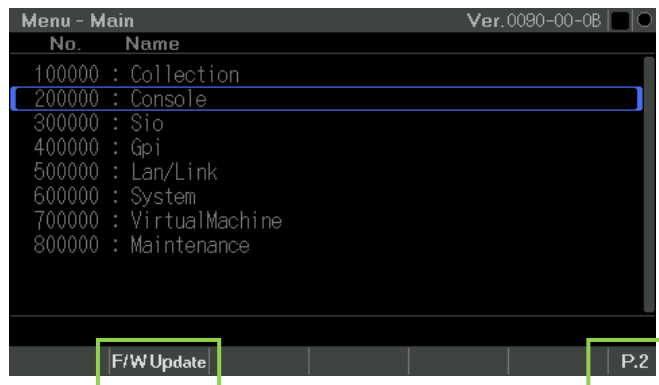
<http://www.musashi-kk.co.jp/>

アップデートの準備

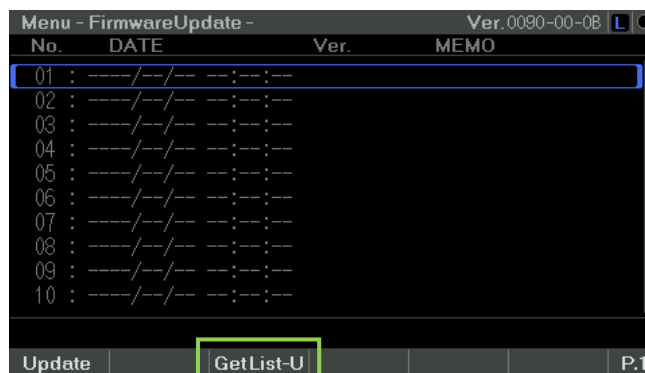
- 1) ダウンロードしたファイルを USB メモリに保存して下さい。
- 2) 解凍したフォルダーのファイルの中身を全て USB メモリのルートに移動して下さい。
- 3) MDC-74 パネルの USB コネクタに接続します。

アップデート操作

- 1) MENU 画面より P2 内の F/WUpdate (F2) を選択します。



- 2) 内蔵メモリの保存領域が表示されます。



- 3) GetList-U を選択すると、USB メモリの有無及びアップデートファイルの確認を行います。

4) アップデート可能なファイルが確認されると

下記のように Ver 番号が表示されます。

No	DATE	Ver	MEMO
01	2013/09/30 17:25:46	0090-00-08	
02	2013/10/03 17:34:03	0090-00-09	
03	----/--/--	----	----
04	----/--/--	----	----
05	----/--/--	----	----
06	----/--/--	----	----
07	----/--/--	----	----
08	----/--/--	----	----
09	----/--/--	----	----
10	----/--/--	----	----

Update GetList-U P.1

上下▲でファイルを選択して Update (F1) キーを押します。

確認メッセージが表示されるので Yes を選択して下さい。

ソフトのアップデートが開始されます。

“Program update completion.”メッセージが出たらアップデート終了です。

メッセージに従い Yes を選択して下さい。選択後は自動でリブートします。

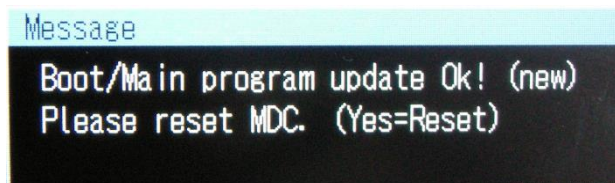
アップデート作業の注意事項！

1) Program update には**15分程度**時間がかかります。

2) Program update 中は**電源を切らないで下さい。**

※アップデート途中で電源を切断すると起動出来なくなる可能性があります。

3) 下記のメッセージが出たら完了です。メッセージに従い操作して下さい。



4) Program update 後は必要に応じ、再設定を行う可能性があります。

※新しい機能をご使用の場合は UP DATE 後に一度、

MENU を AllDefault して下さい。(念のため)

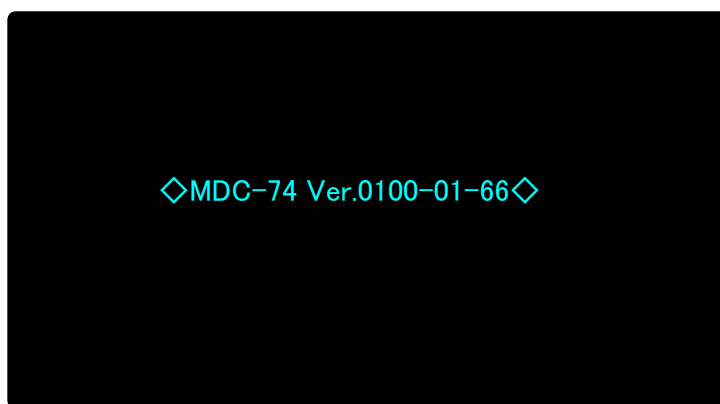
9.16 スクリーンセーバー機能

液晶表示部は長時間操作を行わない場合液晶表示部を保護する為に自動的にスクリーンセーバー表示させる機能です。

キー操作が無く、デバイスも停止している条件で指定の時間後にスクリーンセーバー画面になります。

キーの操作で DeviceStatus 画面に復帰します。

スクリーンセーバー表示



スクリーンセーバー機能を動作させるまでの時間は下記のメニューで設定する事が可能です。

関連メニュー <System> スクリーンセーバー機能		
項目番号	項目名	内容
61506	ScreenSaverMode	スクリーンセーバー機能 Disable :スクリーンセーバー機能を無効にします。 Enable :スクリーンセーバー機能を有効にします。
61507	ScreenSaverTime	スクリーンセーバー機能を動作させるまでの時間 0-999 min(分)で設定が可能です。 Default = 30 min ※0に設定すると6秒程度で動作します。

(注)旧バージョンよりアップデートして使用する時は、アップデート後に一度メニュー設定から Default 設定を行って下さい。

9.17 簡易ログ機能

Ver S0100_01_57 より、簡易ログ機能が使用可能です。

別紙「簡易ログ機能取扱説明書」を参照して下さい。

「簡易ログ機能取扱説明書」は下記の URL よりダウンロード可能です。

<http://www.musashi-kk.co.jp/MDC70T.html>

9.18 LAN 制御

LAN による制御が可能です。

【制御対象プロトコル】

- 1) Musashi-a Eth(MCI-70) Protocol
- 2) Blackmagic HyperDeck Ethernet Protocol

9.18.1 Musashi-a Eth(MCI-70) Protocol

弊社製品MCI-70を使用する事により、VTRプロトコルによる4台以上の同時制御を行う事が可能です。

接続及び詳細は別紙を参照して下さい。

・MDC-70_設定マニュアル(VTR) 複数台の同時再生機能

9.18.2 Blackmagic HyperDeck Ethernet Protocol

BlackMagic 社 HyperDeck の制御を行う事が可能です。

制御方法により動作が異なりますので、システム合わせてご使用下さい。

制御方法	動作概要
LAN 制御	<ul style="list-style-type: none">・通常制御が可能です。・複数台の同時制御の誤差が発生します。・ファイルの選択が可能です。・NEXT/PREV 操作が可能です。
Sio(RS422)制御	<ul style="list-style-type: none">・通常制御が可能です。・VTR と同等の制御となります。
LAN&Sio 制御 (SYNC 機能)	<ul style="list-style-type: none">・購入時にオプションライセンスが必要です。・複数台の同時制御が可能です。(誤差 1Frame)・ファイルの選択が可能です。・NEXT/PREV 操作が可能です。

接続及び詳細は別紙を参照して下さい。

9.19 SYNC 画面

Musashi-a Eth 制御使用時に Sync 画面を使用する事が可能です。

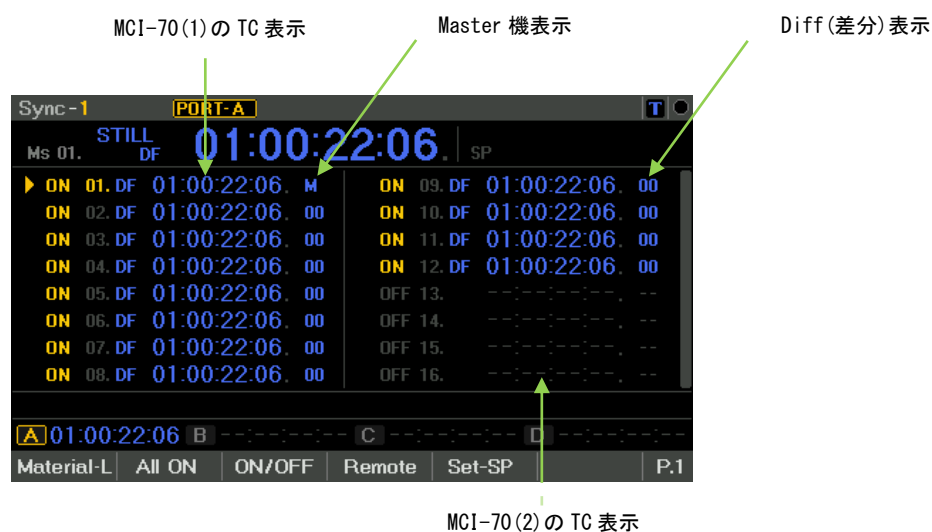
Sync 画面表示では最大16台の TC を表示する事が可能です。

Sync 画面では同期する機器の選択や SyncPosition の設定を行う事が可能です

※SyncPosition とは、TC の差分を算出して登録する機能です。

※Diff(差分)表示とはマスターTC を基準に各機器での TC の差分を表示します

※本機能を使用するには別途MCI-70が必要です。



P ボタン	F1 ボタン	F2 ボタン	F3 ボタン	F4 ボタン	F5 ボタン	F6 ボタン
P.1	Material-L	All ON	ON/OFF	Remote	Set-SP	
P.1 Shift		All OFF		Master	Clr-SP	Monitor
P.2						
P.2 Shift						

- 【Material】 ファイルリスト画面に移動します。
- 【All ON】 全ての制御を ON します。
- 【All OFF】 全ての制御を OFF します。
- 【ON/OFF】 個別に ON/OFF します。
- 【Remote】 リモート機を指定します。(1台のみ調整を行いたい時に使
用します)
- 【Master】 マスター機を指定します。
- 【Set-SP】 SyncPosition を Set します。
- 【Clr-SP】 SyncPosition を Clr します。
- 【Monitor】 Monitor 画面に移動します。

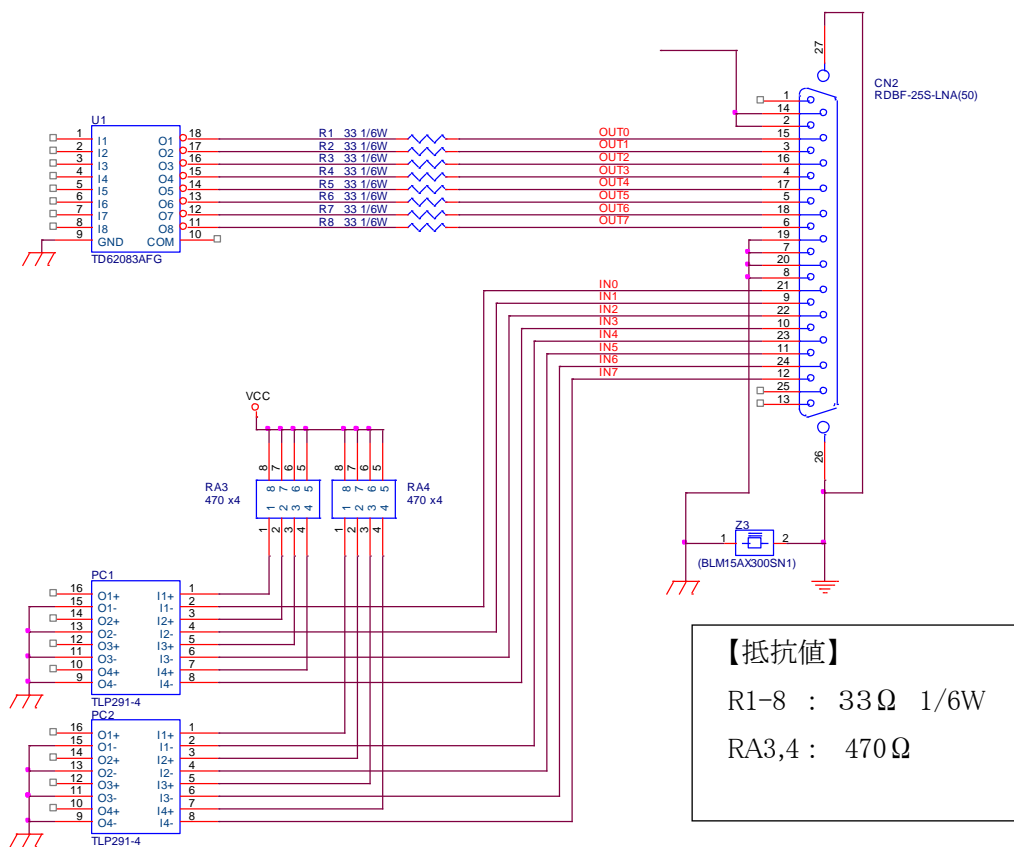
10.コネクタ仕様

【コネクタ仕様】

項目	仕様
RS-422 (Dsub9Pin)	4系統
GPI (Dsub25Pin)	入出力8系統の動作を設定する事が可能
LAN	EtherNet 10/100base 2系統 ストレート・クロスケーブル自動判別 (Auto MDIX)
LINK	IEEE1394
REF	BNC コネクタ 同期信号入力です。 NTSC/PAL 信号の 2 値 SYNC/3 値 SYNC に対応しています。
LTC IN	LTC 入力
LTC OUT	LTC 出力 SMPTE12M 準拠 出カインピーダンス 22Ω 出力振幅 1.65Vpp

【GPI コネクタ電氣的仕様】

GPI ドライバー部の回路図です。



下記設定可能箇所は、メニューで機能変更が可能です。

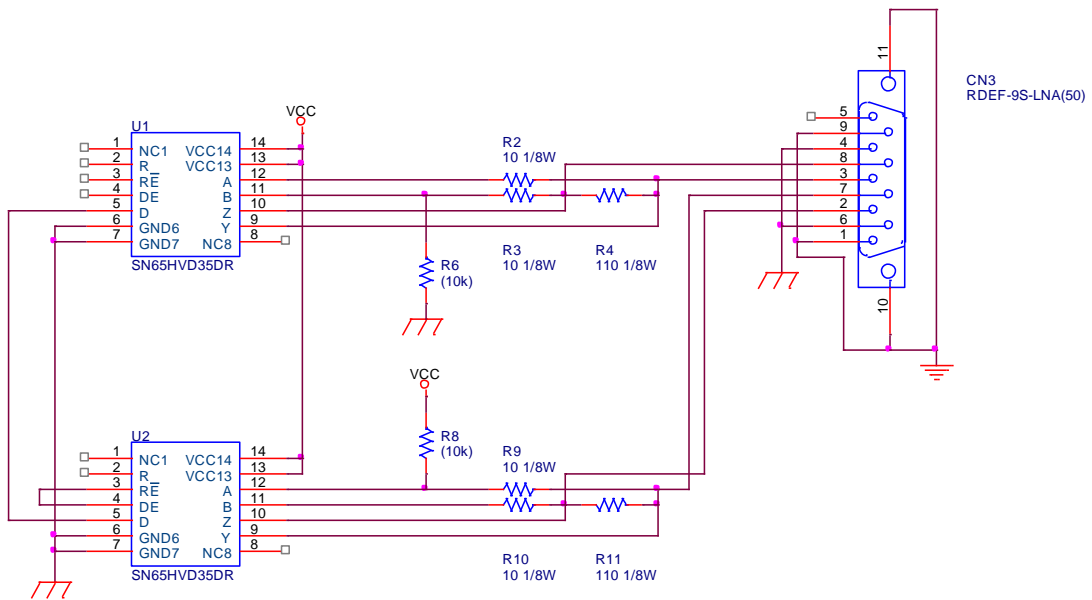
D-SUB 25PIN メス座(ミリネジ)

GIP IF (Dsub 25pin メス座)		
ピン番号	属性	対応機能
1	NC	
2	NC	
3	OUT1	設定可能
4	OUT3	設定可能
5	OUT5	設定可能
6	OUT7	設定可能
7	GND	
8	GND	
9	IN1	設定可能
10	IN3	設定可能
11	IN5	設定可能
12	IN7	設定可能
13	NC	
14	NC	
15	OUT0	設定可能
16	OUT2	設定可能
17	OUT4	設定可能
18	OUT6	設定可能
19	GND	
20	GND	
21	IN0	設定可能
22	IN2	設定可能
23	IN4	設定可能
24	IN6	設定可能
25	NC	

【RS422 コネクタ電氣的仕様】

RS422 ドライバー部の回路図です。

※回路上は CONTROLLER と DEVICE 対応ですが、CONTROLLER のみで使用可能です。



D-SUB 9PIN メス座(ミリネジ)

	名称	動作
1	FG	フレーム GND
2	REM RX-	RS-422信号レベル(平衡-)
3	REM TX+	RS-422信号レベル(平衡+)
4	RECEIVE COMMON	受信信号 GND
5	N.C	
6	TRANSMIT COMMON	送信信号 GND
7	REM RX+	RS-422信号レベル(平衡+)
8	REM TX-	RS-422信号レベル(平衡-)
9	FG	フレーム GND

11.一般仕様

【一般仕様】

項目	仕様
寸法	210(w) x 176.3-190(D) x55-87(H) mm
質量	約 2Kg
消費電力	約 12W
電源	ACアダプタ使用 100-240V 1.1A 50-60Hz
動作温・湿度	0°C~40°C 10%~85%RH 但し結露なきこと
保存温・湿度	-10°C~60°C 10%~95%RH 但し結露なきこと
Rohs対応	Rohs 対応部品を使用して製造しています

12.通信仕様

【通信信号】

- ・ EIA RS-422A 準拠
- ・ 全二重通信チャンネル
- ・ 回線速度 : 38.400 Kbps
- ・ ビット構成

START BIT + 8 DATA BITS + ODD PARITY BIT + STOP BIT

START BIT	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	ODD PARITY	STOP BIT
--------------	----	----	----	----	----	----	----	----	---------------	-------------

- ・ コマンド ブロック フォーマット

通信は下記のフォーマットで行っています。

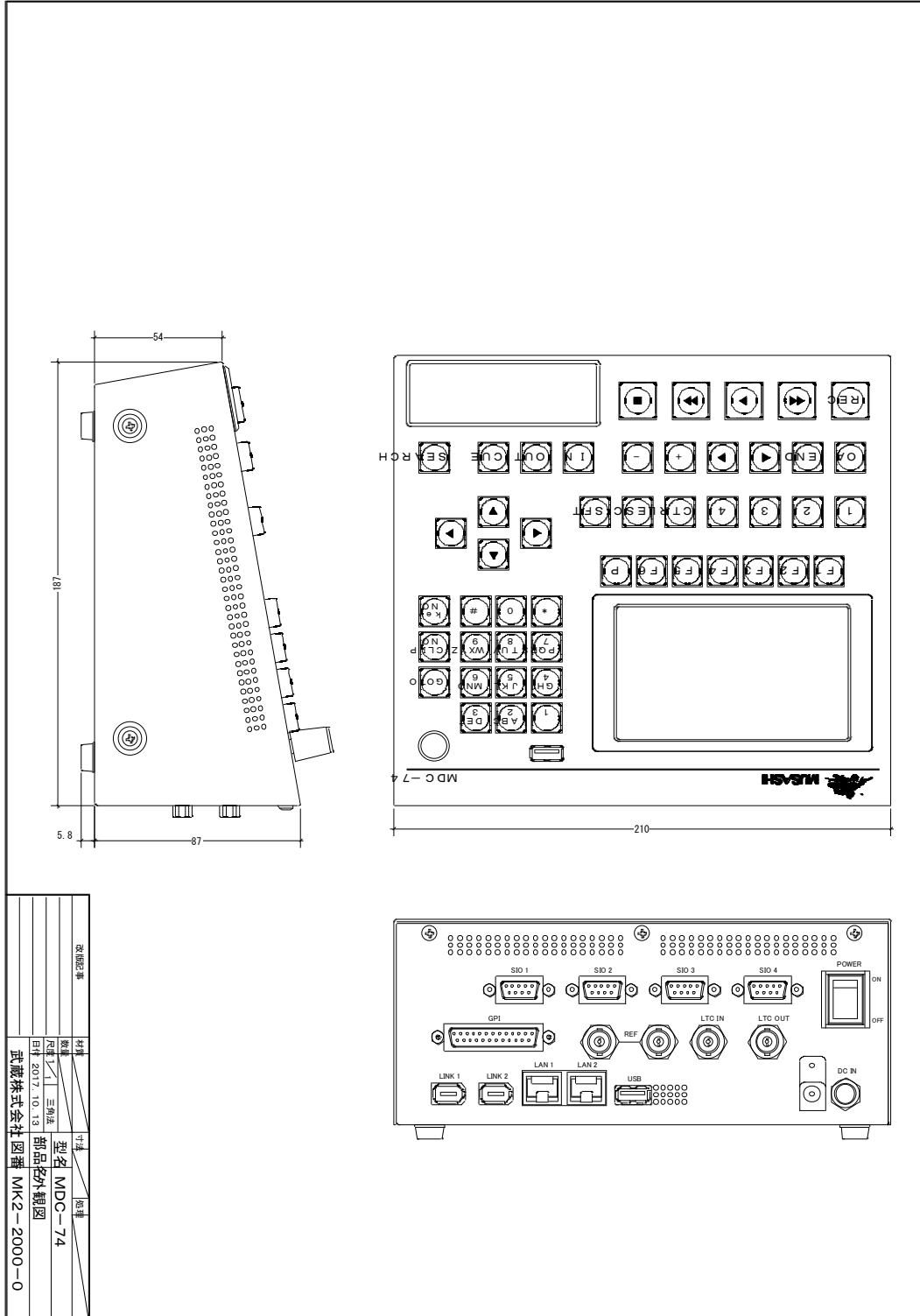
CMD-1	DATA COUNT	CMD-2	DATA-1	DATA-2		DATA-15	CHECK SUM
MDS 1 BYTE	LSD	1 BYTE			0~15 BYTE		1 BYTE

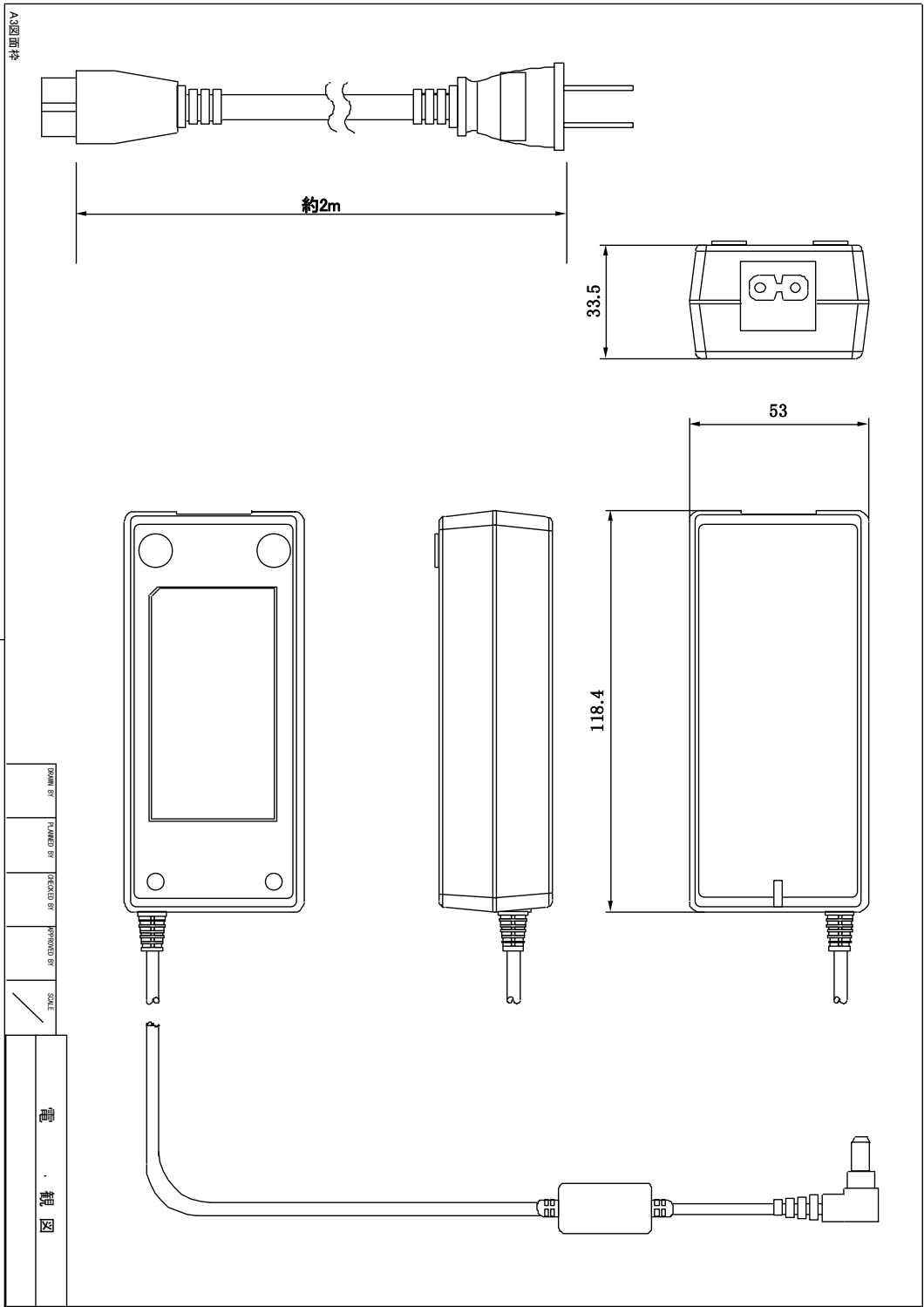
【対応プロトコル】

- ・SONY VTR プロトコル : 通常のVTRを制御するプロトコルです。
- ・SDisk プロトコル : ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。
- ・VDCP プロトコル : ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。
- ・Odtics プロトコル : ファイル管理及び制御が可能にプロトコルです。

※ファイル管理を行うプロトコルは、機器により制御手順及びTCの取扱に相違がある為、プロトコル対応機器でも動作しない事があります。

13.外觀





MUSASHI

14.MENU 一覧

メニュー一覧は「別紙 メニュー説明書」を参照して下さい。

下記の URL よりダウンロード可能です。

<http://www.musashi-kk.co.jp/MDC70T.html>

15.お問い合わせ

ご相談・ご質問及び、修理に関しましては、下記までお問い合わせ下さい。

武蔵株式会社

TEL 03-5982-4391 FAX 03-5982-4784

東京都新宿区下落合 3-21-1 NK フジビル 3F 〒161-0033

営業時間 9:00～18:00 月曜～金曜(休祝日を除く)

URL: <http://www.musashi-kk.co.jp/>
